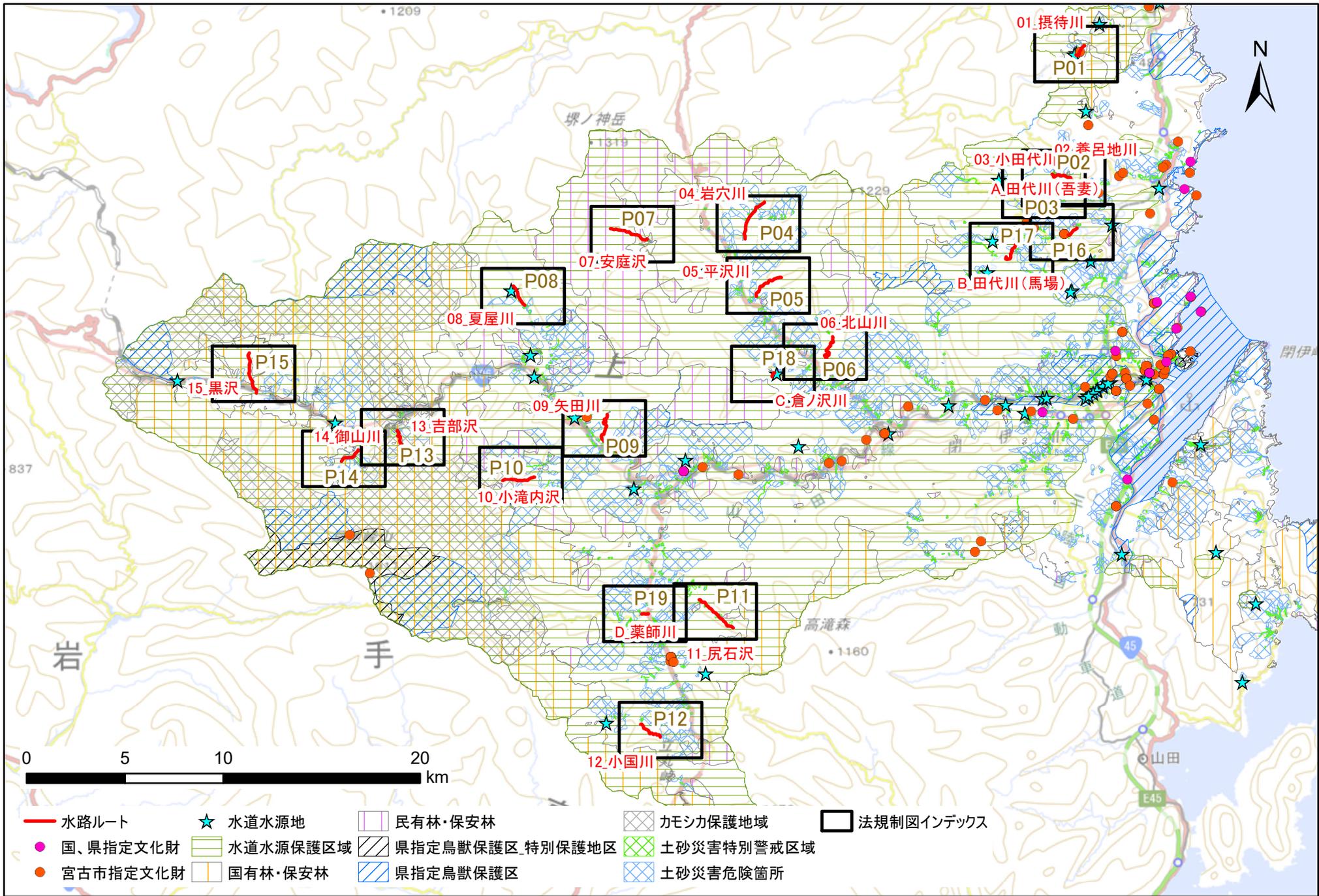


宮古市 再生可能エネルギーゾーニング

小水力発電に係る調査結果



01 撰待川

P01

02 養呂地川

P02

A 田代川(吾妻)

P03

B 田代川(馬場)

P16

04 岩穴川

P04

07 安庭沢

P07

05 平沢川

P05

08 夏屋川

P08

06 北山川

P06

C 倉ノ沢川

P18

15 黒沢

P15

14 御山川

P14

13 吉部沢

P13

09 矢田川

P09

10 小藩内沢

P10

P19

D 薬師川

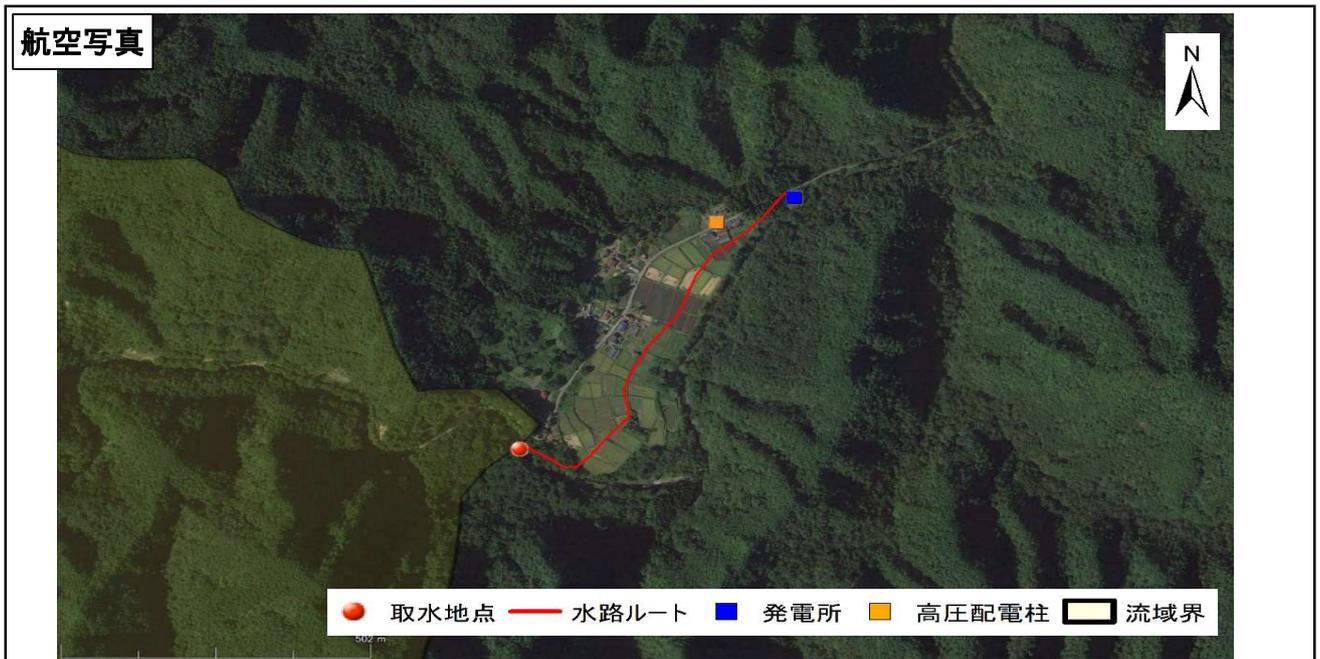
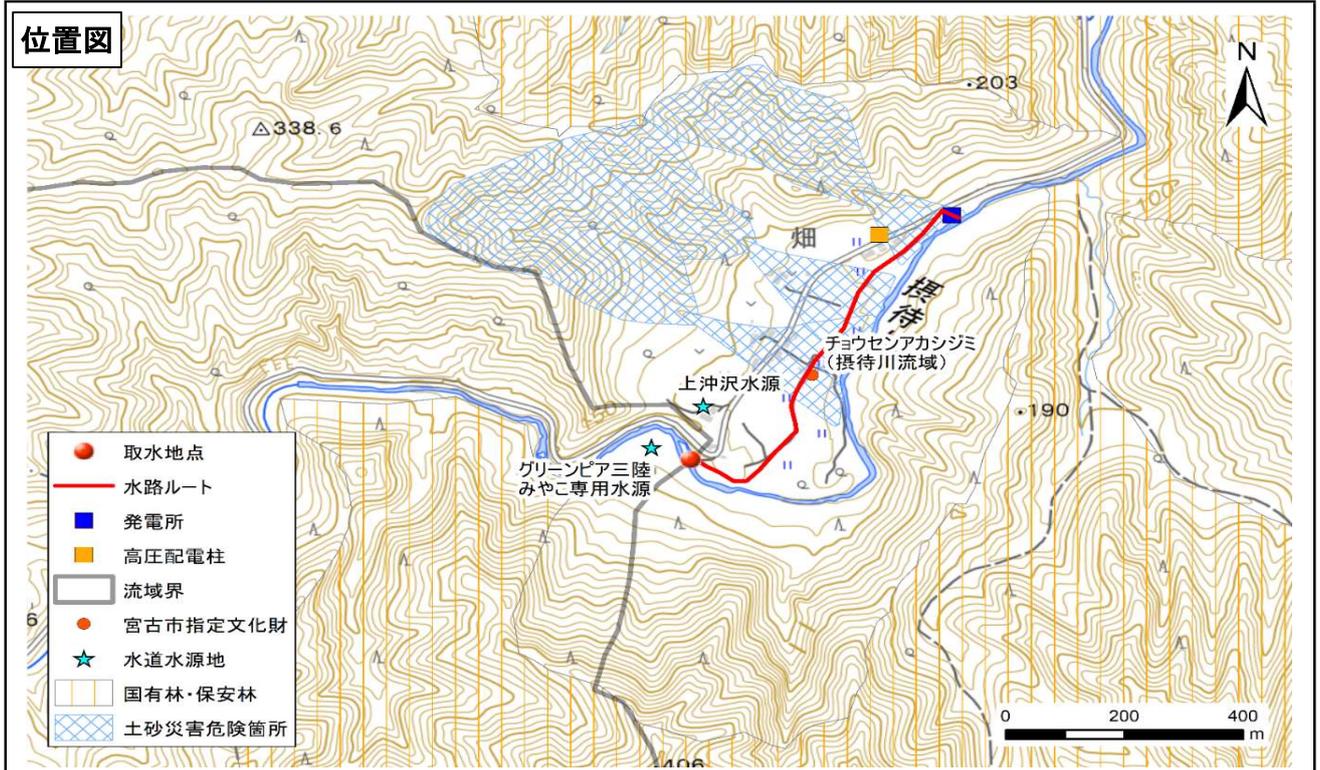
P11

11 尻石沢

P12

12 小国川

地点 No.	O1
地点名称	摂待川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設 参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(準用河川)
施設名称	—
施設管理者	—



[現地状況]

地点No.	01	地点名称	撰待川
-------	----	------	-----



取水候補地正面(堰堤新設)。



取水候補地より流下方向(左岸側には沈砂地に利活用可能な土地がある)。



沈砂池に利活用可能な土地(左岸側)。



林道から取水候補地への急勾配の取付道路。



林道から取水候補地への取付道路入口。

〔現地状況〕

地点No.	01	地点名称	撰待川
-------	----	------	-----



発電所候補地と道路の接続がよい。



発電所候補地遠景(発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある)。



農地内の水路ルートとなる(上流側から下流を臨む)。



農地内の水路ルートとなる(下流側から上流を臨む)。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(松坂線100)。

[補足事項]

地点No.	01	地点名称	撰待川
-------	----	------	-----

・コメント

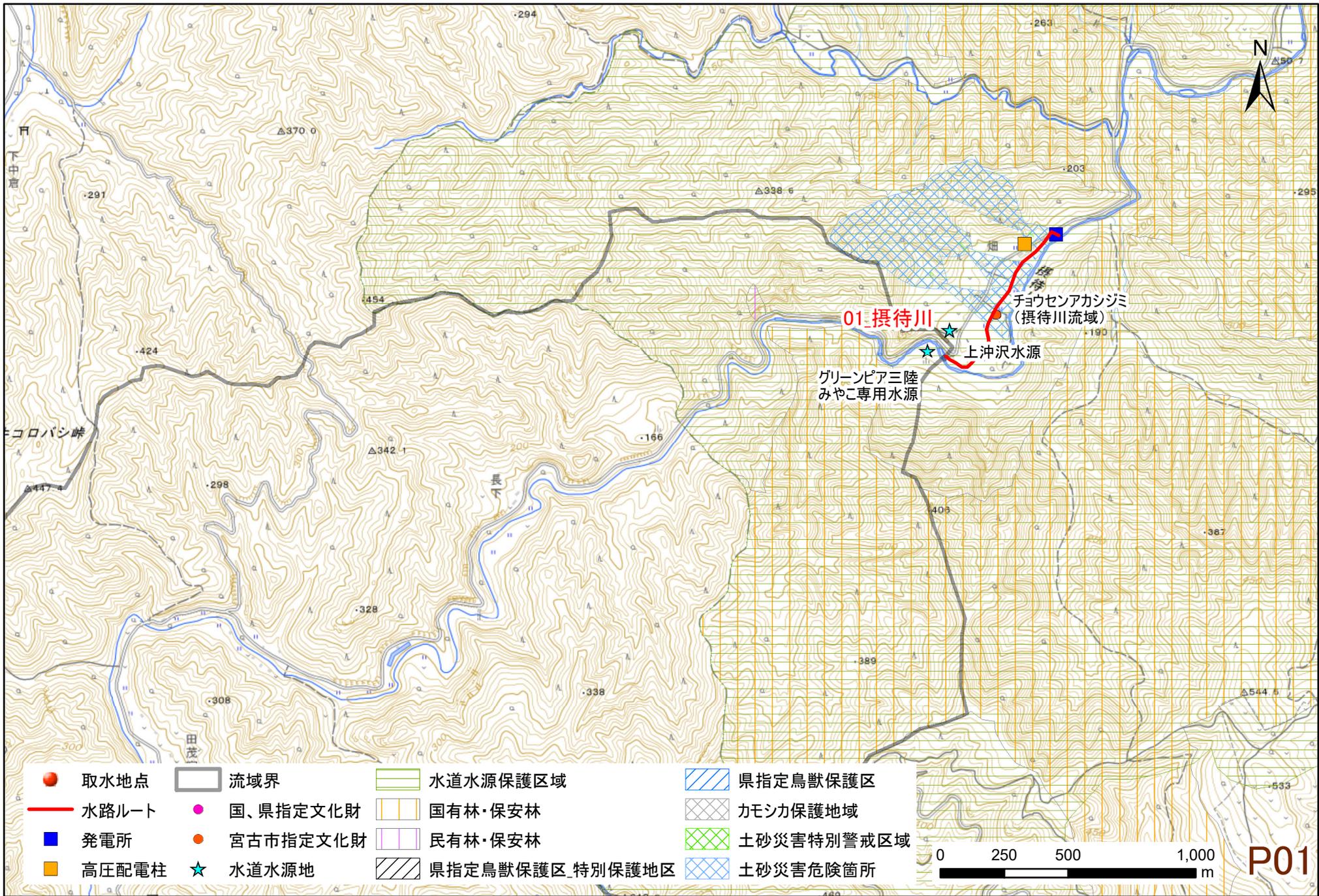
流 況	流量3.1m ³ /s程度、川幅14.1m、水深0.22m、流速1.0m/s(令和5年11月28日、曇)
落 差	取水地と発電所の落差が10m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(松坂100)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所候補地付近河道左岸側の河岸段丘に発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	集落・住家に近く、騒音等に留意する必要がある。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・放水ルート上流側と取水候補地現況河道との高低差が6m程度となっている。 ・チョウセンアカシジミ生息地帯。 ・近隣に上沖沢水源やグリーンピア三陸みやこ専用水源が存在する。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--

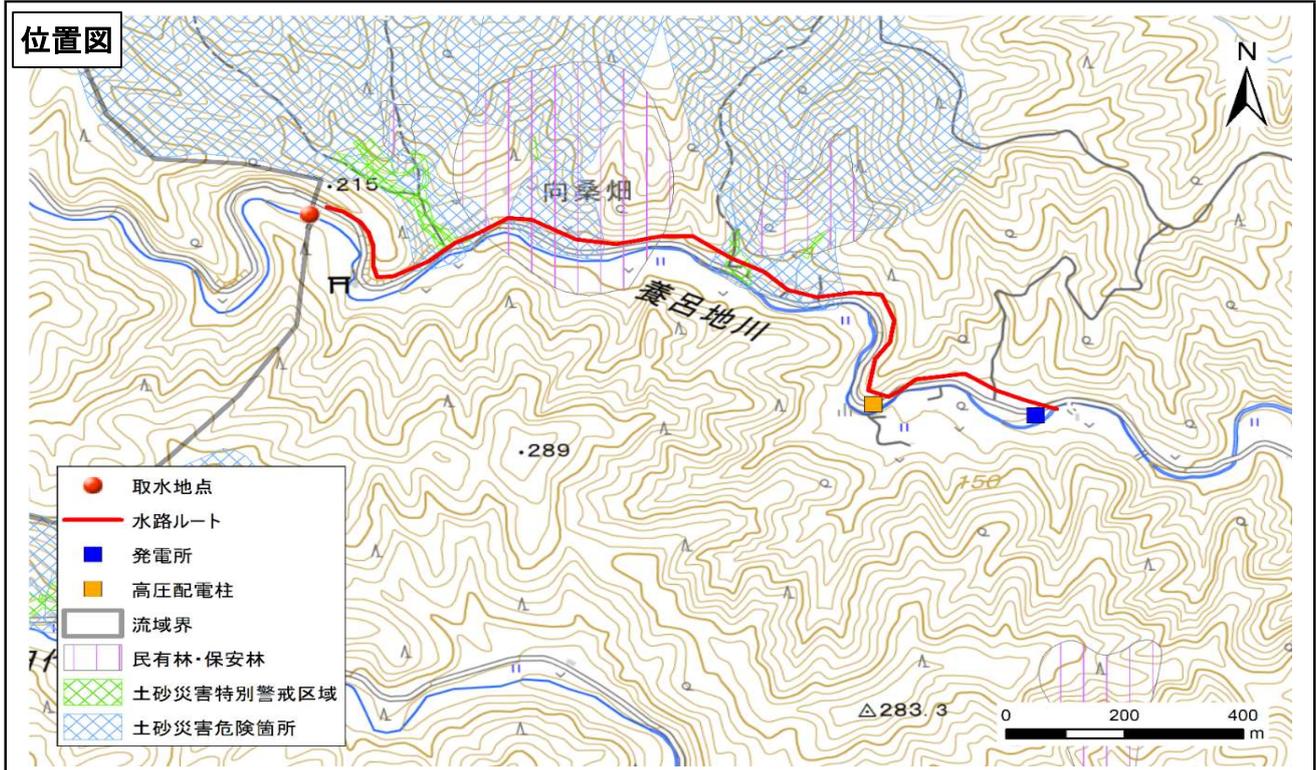


- | | | | |
|-------|----------|-----------------|------------|
| 取水地点 | 流域界 | 水道水源保護区域 | 県指定鳥獣保護区 |
| 水路ルート | 国、県指定文化財 | 国有林・保安林 | カモシカ保護地域 |
| 発電所 | 宮古市指定文化財 | 民有林・保安林 | 土砂災害特別警戒区域 |
| 高圧配電柱 | 水道水源地 | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | 土砂災害危険箇所 |



P01

地点 No.	02
地点名称	養呂地川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(準用河川)
施設名称	養呂地川ハツ石堰堤
施設管理者	宮古土木センター



〔現地状況〕

地点No.	02	地点名称	養呂地川
-------	----	------	------



取水候補地正面(養呂地川ハツ石堰堤、昭和44年3月)。



取水地候補地下流左岸側の沈砂池に利活用可能な土地。



砂防堰堤堆砂状況(未満砂)。



砂防堰堤銘板(養呂地川ハツ石堰堤、宮古土木センター)。



砂防指定地標識(養呂地川、宮古土木センター)。

〔現地状況〕

地点No.	02	地点名称	養呂地川
-------	----	------	------



砂防堰堤左岸側と林道の接続がよい。



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。



放水候補地遠景(発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある)。



発電所候補地と道路の接続がよい。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(青倉線30北1)。

〔補足事項〕

地点No.	02	地点名称	養呂地川
-------	----	------	------

・コメント

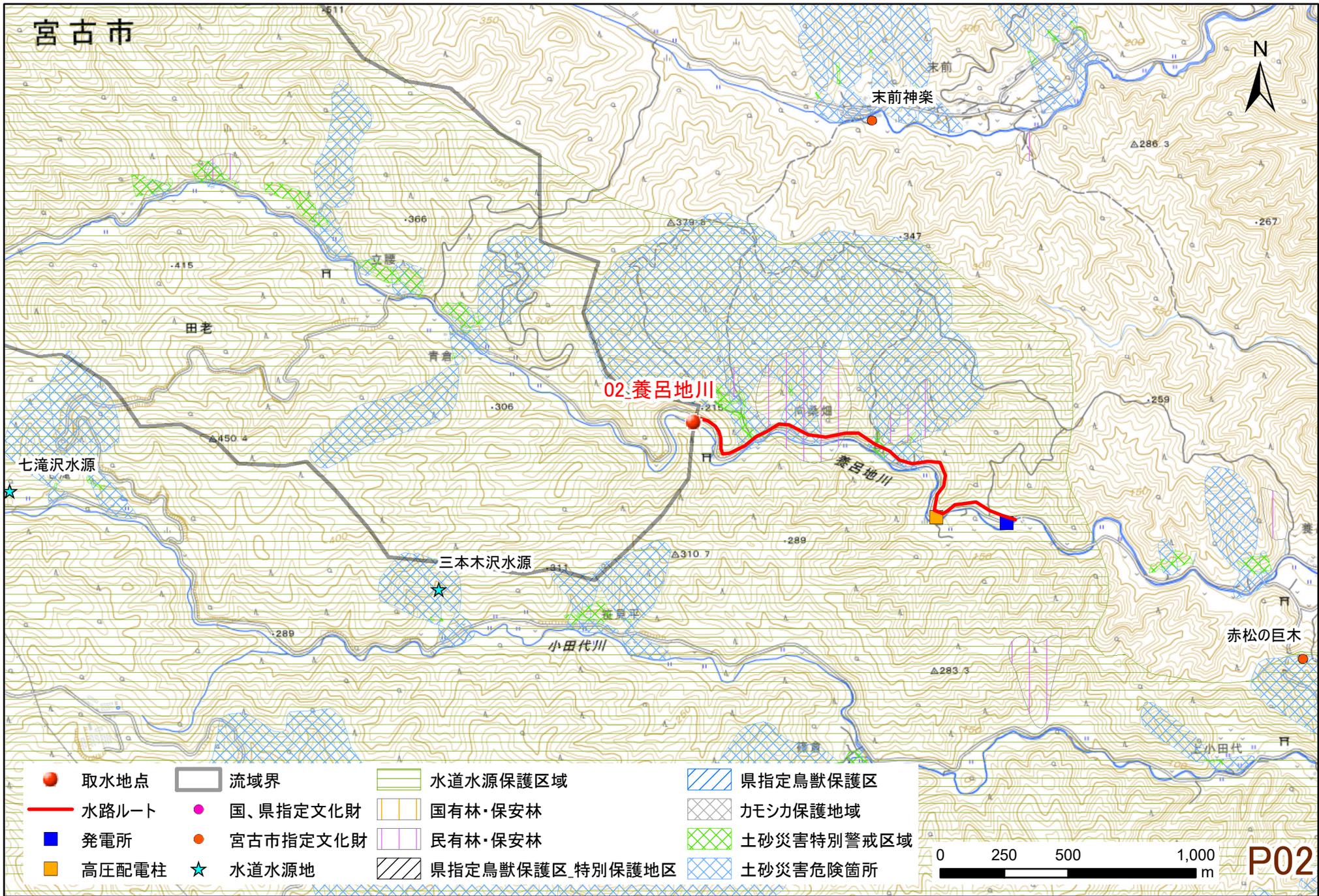
流 況	流量0.4m ³ /s程度、川幅5.2m、水深0.20m、流速0.4m/s(令和5年11月28日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差70m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(青倉線30北1)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	・施工性や周辺環境等に課題が少ない。 ・チョウセンアカシジミ生息地帯。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--



宮古市

末前神楽

02_養呂地川

七滝沢水源

三本木沢水源

小田代川

養呂地川

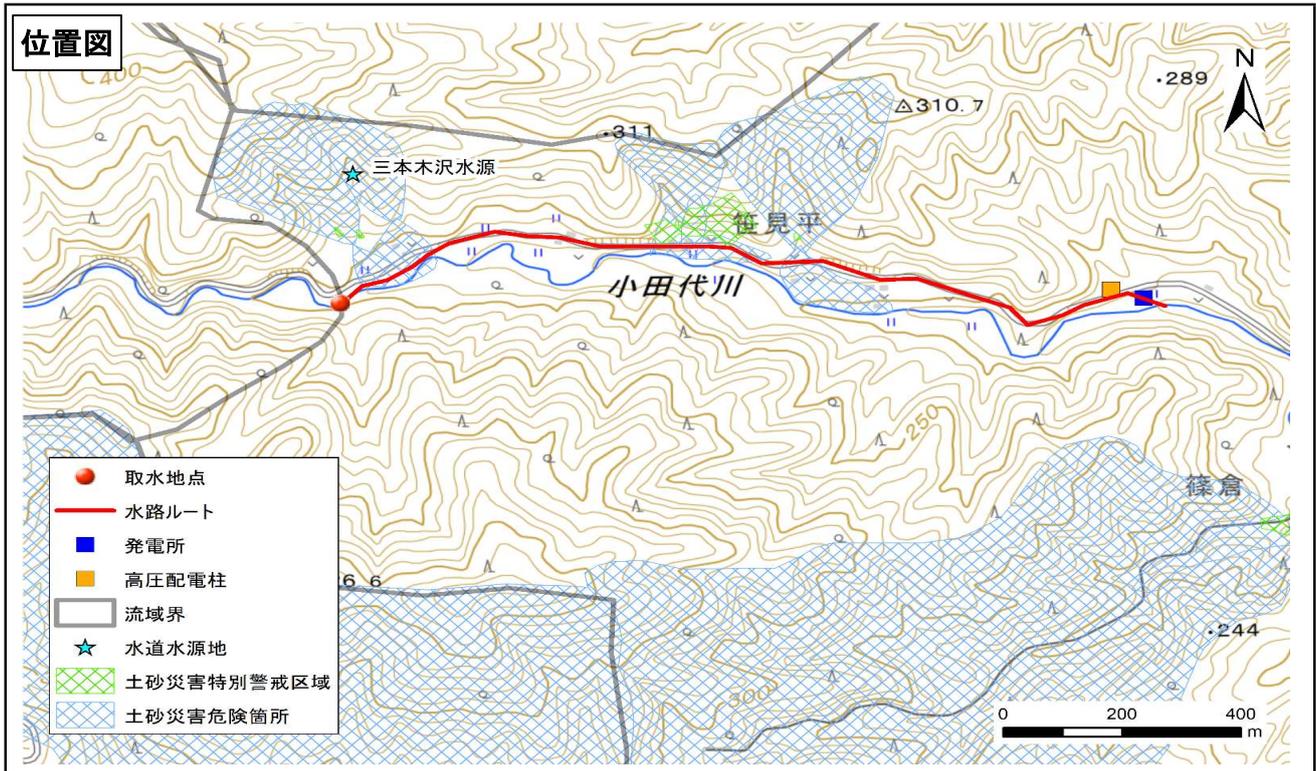
赤松の巨木

- | | | | | | | | |
|--|-------|--|----------|--|-----------------|--|------------|
| | 取水地点 | | 流域界 | | 水道水源保護区域 | | 県指定鳥獣保護区 |
| | 水路ルート | | 国、県指定文化財 | | 国有林・保安林 | | カモシカ保護地域 |
| | 発電所 | | 宮古市指定文化財 | | 民有林・保安林 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 高圧配電柱 | | 水道水源地 | | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | | 土砂災害危険箇所 |



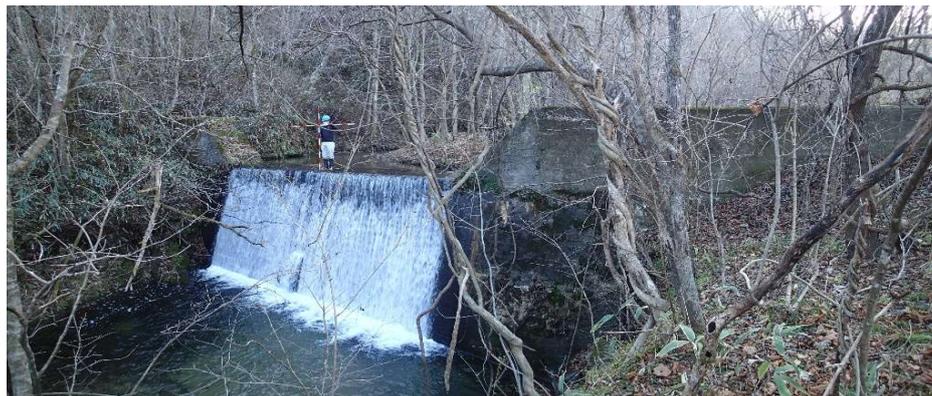
P02

地点 No.	03
地点名称	小田代川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(準用河川)
施設名称	昭和46年度予防治山事業
施設管理者	岩手県



〔現地状況〕

地点No.	03	地点名称	小田代川
-------	----	------	------



取水候補地正面(昭和46年度予防治山事業、岩手県)。



治山施設下流左岸側の沈砂池に利活用可能な土地。



治山施設水通し(天端幅1.5m)。



堆砂状況(満砂)。



治山施設左岸側と林道の接続がよい。

〔現地状況〕

地点No.	03	地点名称	小田代川
-------	----	------	------



放水候補地遠景。



発電所候補地および資材置き場等に利活用できる土地。



発電所候補地と道路の高低差は約5m程度である。



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。



治山施設銘板(昭和46年度予防治山事業、岩手県)。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(笹見平線22東15-A)。

〔補足事項〕

地点No.	03	地点名称	小田代川
-------	----	------	------

・コメント

流 況	流量1.1m ³ /s程度、川幅5.2m、水深0.30m、流速0.7m/s(令和5年11月28日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差70m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(笹見平線22東15-A)が近接。
接 道	発電所候補地と近傍道路の高低差が5m程度である。 道路の交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	・チョウセンアカシジミ生息地帯。 ・近隣に三本木沢水源が存在する。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・法規制関連協議先

--

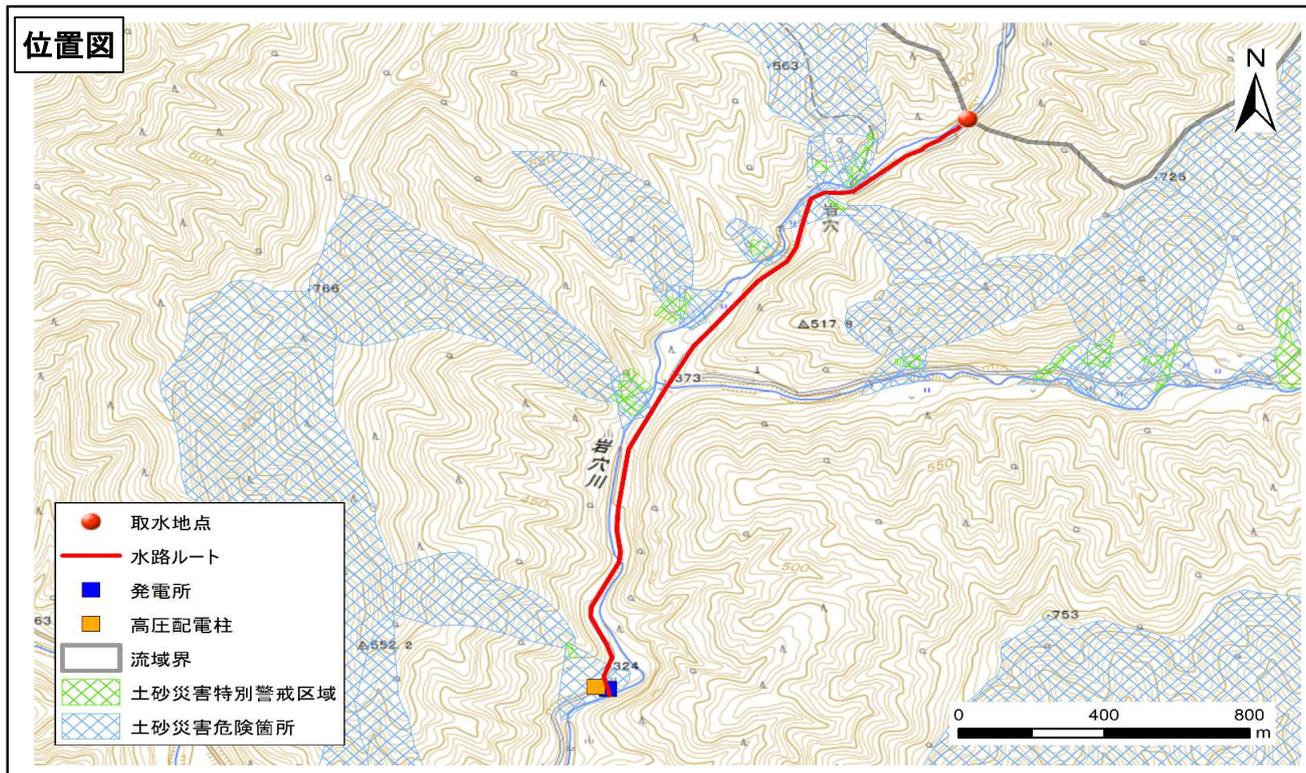


- | | | | | | | | |
|--|-------|--|----------|--|-----------------|--|------------|
| | 取水地点 | | 流域界 | | 水道水源保護区域 | | 県指定鳥獣保護区 |
| | 水路ルート | | 国、県指定文化財 | | 国有林・保安林 | | カモシカ保護地域 |
| | 発電所 | | 宮古市指定文化財 | | 民有林・保安林 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 高圧配電柱 | | 水道水源地 | | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | | 土砂災害危険箇所 |



P03

地点 No.	O4
地点名称	岩穴川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(準用河川)
施設名称	—
施設管理者	—



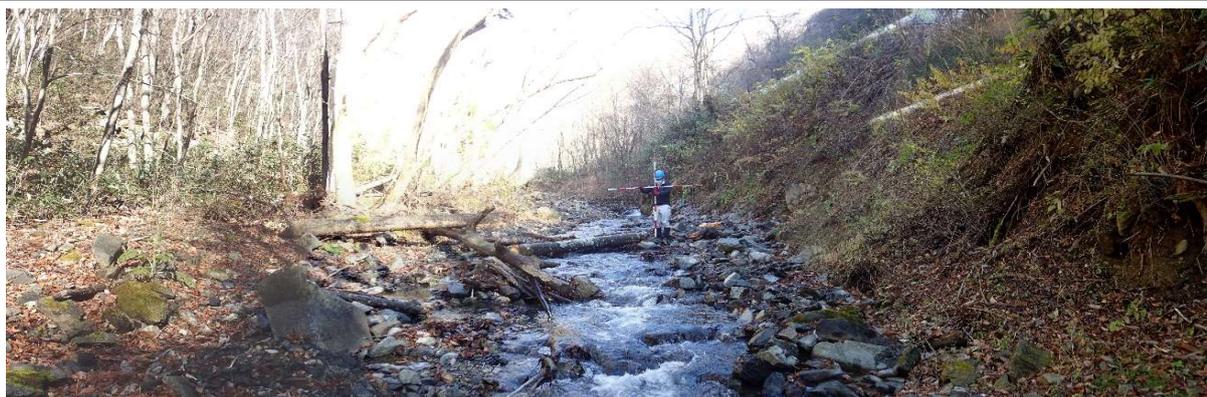
[現地状況]

地点No.

04

地点名称

岩穴川



取水候補地正面(河床と道路の高低差が7m程度、堰堤新設)。



取水候補地下流側の河道(左岸側に沈砂池を設置する場合は地形を考慮する必要がある)。



取水候補地上流30m地点左岸側の河岸段丘。



取水候補地下流側100mに設置された治山施設。



治山施設銘板(令和3年度治山事業、岩手県)。



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。



水路ルート橋梁通過部(馬草橋)。

〔現地状況〕

地点No.	04	地点名称	岩穴川
-------	----	------	-----



放水候補地正面。



発電所候補地近傍に利活用可能な土地がある。



林道脇に資材置き場等に利活用できる土地がある。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(戸塚線37)。

〔補足事項〕

地点No.	04	地点名称	岩穴川
-------	----	------	-----

・コメント

流 況	流量0.4m ³ /s程度、川幅4.4m、水深0.18m、流速0.5m/s(令和5年11月22日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差130m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(戸塚線37)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。 また、取水候補地付近の左岸側で沈砂池の施工場所が確保しにくい地形となっている。
周辺環境	発電所候補地近隣に住家があり、騒音等に留意する必要がある。
そ の 他	取水候補地下流側の地形を考慮した沈砂池の設置が必要である。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

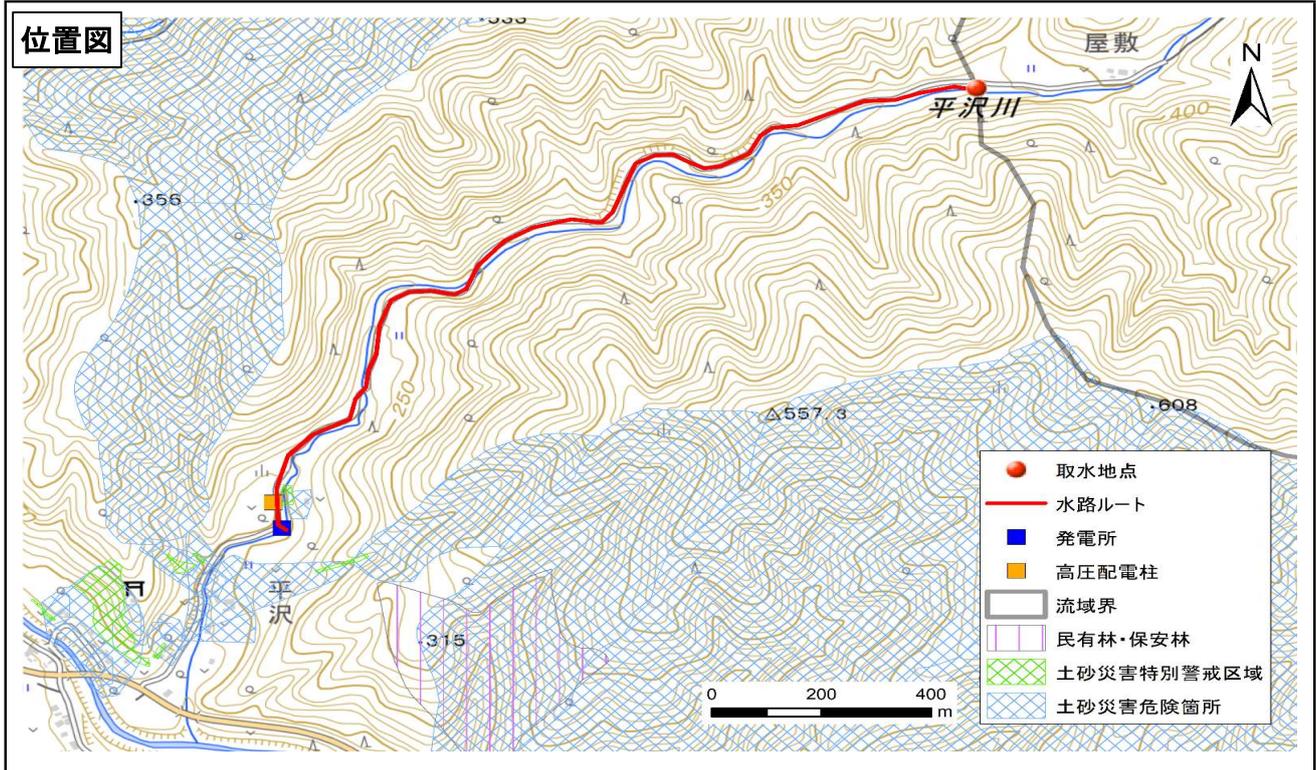
※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--



地点 No.	05
地点名称	平沢川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設 参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(普通河川)
施設名称	—
施設管理者	—



[現地状況]

地点No.	05	地点名称	平沢川
-------	----	------	-----



取水候補地河道正面(堰堤新設)。



取水候補地下流右岸側に沈砂池に利活用可能な土地がある。



沈砂池候補地から林道への接続がよい。



矢印は道路順勾配方向を示す。

林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。



放水ルート上流側の橋梁通過部(平澤橋)。

〔現地状況〕

地点No.	05	地点名称	平沢川
-------	----	------	-----



発電所候補地と道路の接続がよい。



放水候補地正面および発電所候補地に活用可能な土地。



放水ルート下流側の橋梁通過部(第一平沢橋)。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(平沢線14-A)。

〔補足事項〕

地点No.	05	地点名称	平沢川
-------	----	------	-----

・コメント

流 況	流量0.2m ³ /s程度、川幅2.7m、水深0.22m、流速0.3m/s(令和5年11月22日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差130m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(平沢線14-A)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	住家に近く、騒音等に留意する必要がある。
そ の 他	施工性や周辺環境等に課題が少ない。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--

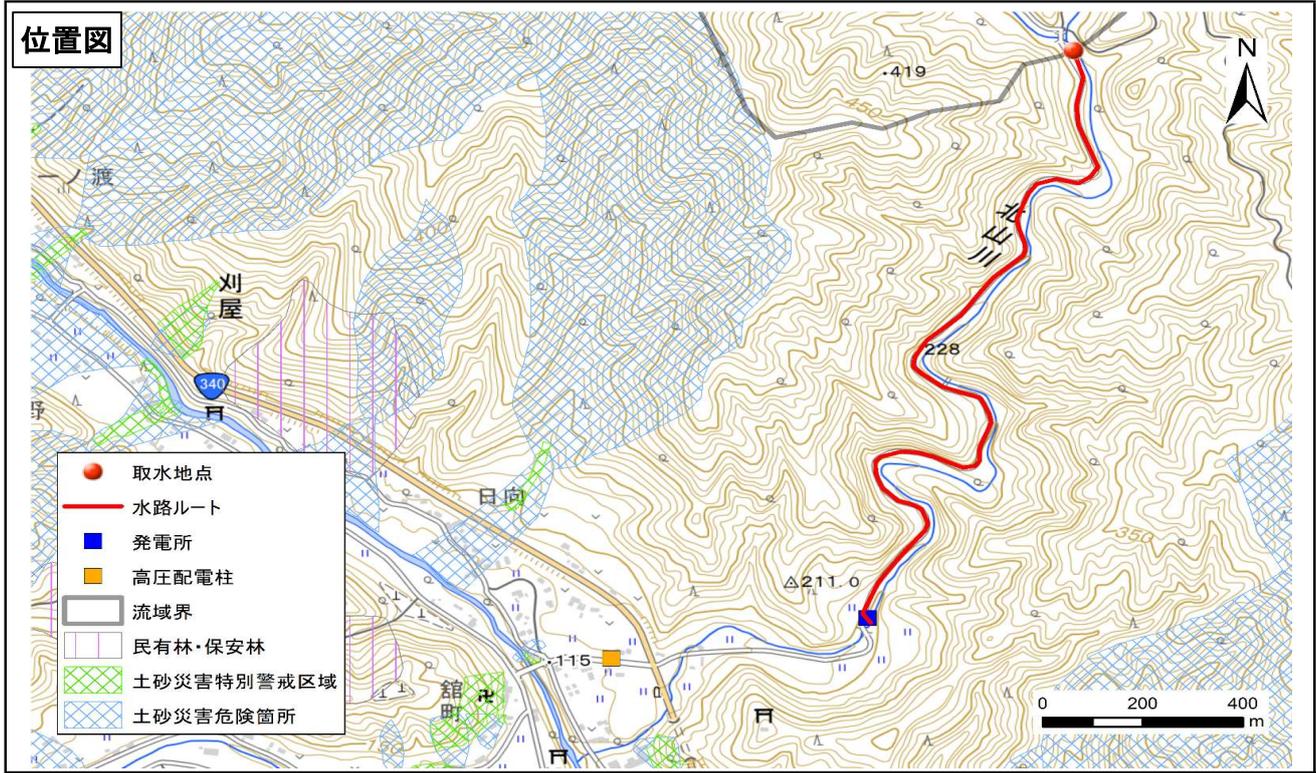


- | | | | | | | | |
|--|-------|--|----------|--|-----------------|--|------------|
| | 取水地点 | | 流域界 | | 水道水源保護区域 | | 県指定鳥獣保護区 |
| | 水路ルート | | 国、県指定文化財 | | 国有林・保安林 | | カモシカ保護地域 |
| | 発電所 | | 宮古市指定文化財 | | 民有林・保安林 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 高圧配電柱 | | 水道水源地 | | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | | 土砂災害危険箇所 |

0 250 500 1,000 m

P05

地点 No.	06
地点名称	北山川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(準用河川)
施設名称	—
施設管理者	—



〔現地状況〕

地点No.	06	地点名称	北山川
-------	----	------	-----



取水候補地河道正面(堰堤新設)。



取水候補地下流側の河道現況。



取水候補地下流右岸側の沈砂池に利活用できる土地。



取水候補地右岸側と林道の接続がよい。



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。

〔現地状況〕

地点No.	06	地点名称	北山川
-------	----	------	-----



発電所候補地および資材置き場等に利活用できる土地。



発電所候補地と道路の接続がよい。



発電候補地最寄りの高圧配電柱(源兵工平線4)。

〔補足事項〕

地点No.	06	地点名称	北山川
-------	----	------	-----

・コメント

流 況	流量0.3m ³ /s程度、川幅5.8m、水深0.10m、流速0.6m/s(令和5年11月27日、曇)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差140m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(源兵工平線4)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	施工性や周辺環境等に課題が少ない。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--

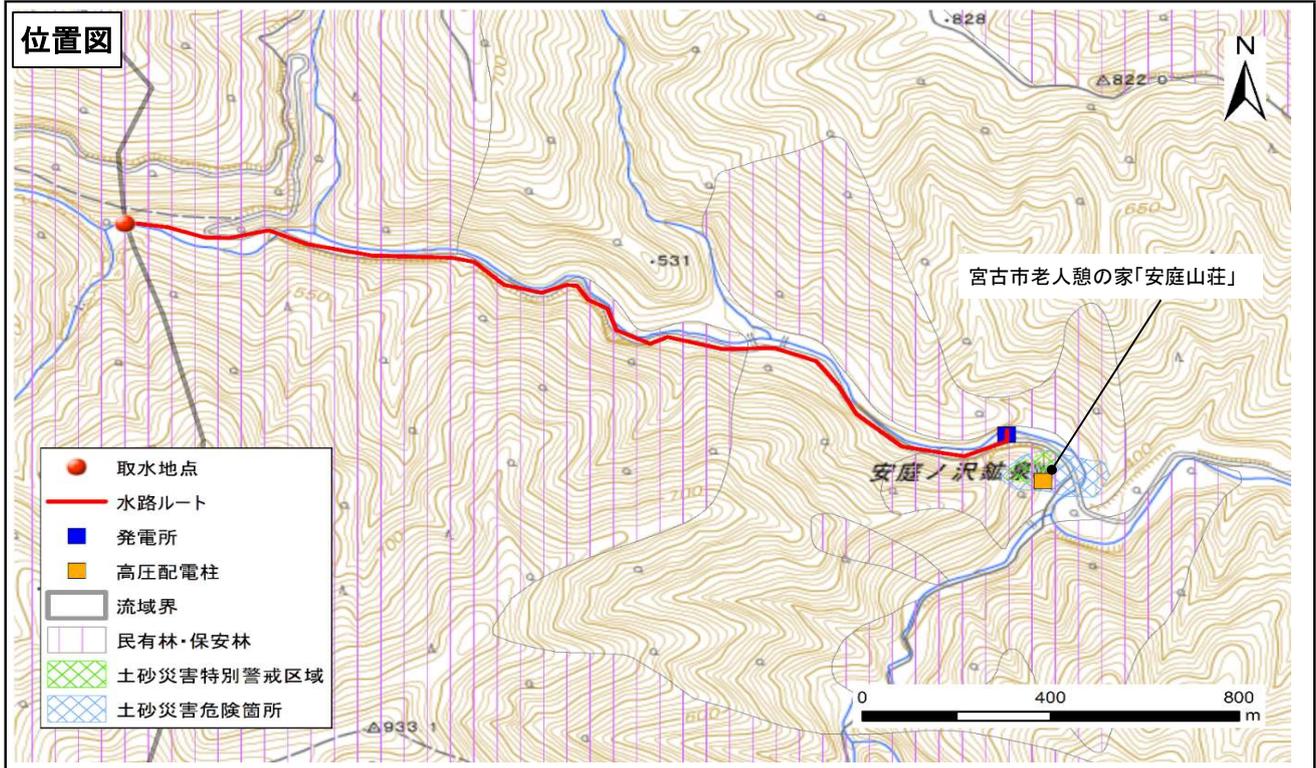


- | | | | |
|---|--|--|--|
| ● 取水地点 | 流域界 | 水道水源保護区域 | 県指定鳥獣保護区 |
| — 水路ルート | ● 国、県指定文化財 | 国有林・保安林 | カモシカ保護地域 |
| ■ 発電所 | ● 宮古市指定文化財 | 民有林・保安林 | 土砂災害特別警戒区域 |
| ■ 高圧配電柱 | ★ 水道水源地 | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | 土砂災害危険箇所 |



P06

地点 No.	07
地点名称	安庭沢
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(普通河川)
施設名称	不明
施設管理者	不明



〔現地状況〕

地点No.	07	地点名称	安庭沢
-------	----	------	-----



取水候補地正面(堰堤既設、名称不明、所管不明)。



堰堤堆砂状況(満砂)。



取水候補地より下流側河道(左岸側に建設道路跡あり)。



堰堤下流左岸側の沈砂池に利活用可能な土地。



堰堤水通し(天端幅1.5m)。



取水候補地最寄りの林道まで約170mの距離がある。

[現地状況]

地点No.	07	地点名称	安庭沢
-------	----	------	-----



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。



放水ルート橋梁通過部(害鷹森橋)。



発電所候補地遠景。



林道脇に資材置き場等に活用できる土地がある。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(安庭沢支線135)。



発電所候補地下流の宮古市老人憩の家「安庭山荘」。

〔補足事項〕

地点No.	07	地点名称	安庭沢
-------	----	------	-----

・コメント

流 況	流量0.5m ³ /s程度、川幅4.8m、水深0.20m、流速0.6m/s(令和5年11月22日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差100m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(安庭沢支線135)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	発電所候補地下流側に「宮古市老人憩の家安庭山荘」があり、騒音等に留意する必要がある。
そ の 他	・近隣に住家が少ない。 ・取水候補地までの接道を整備する必要がある。 ・取水候補地は民有林保安林内に位置している。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--



宮古市

07_安庭沢

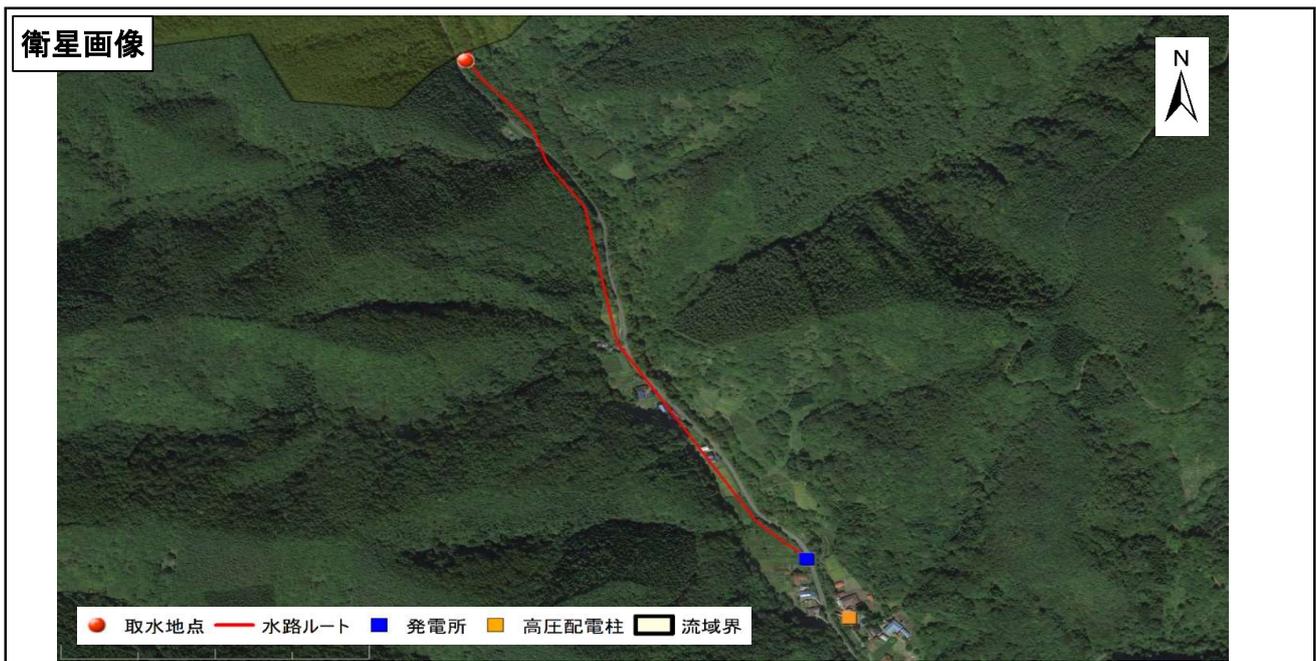
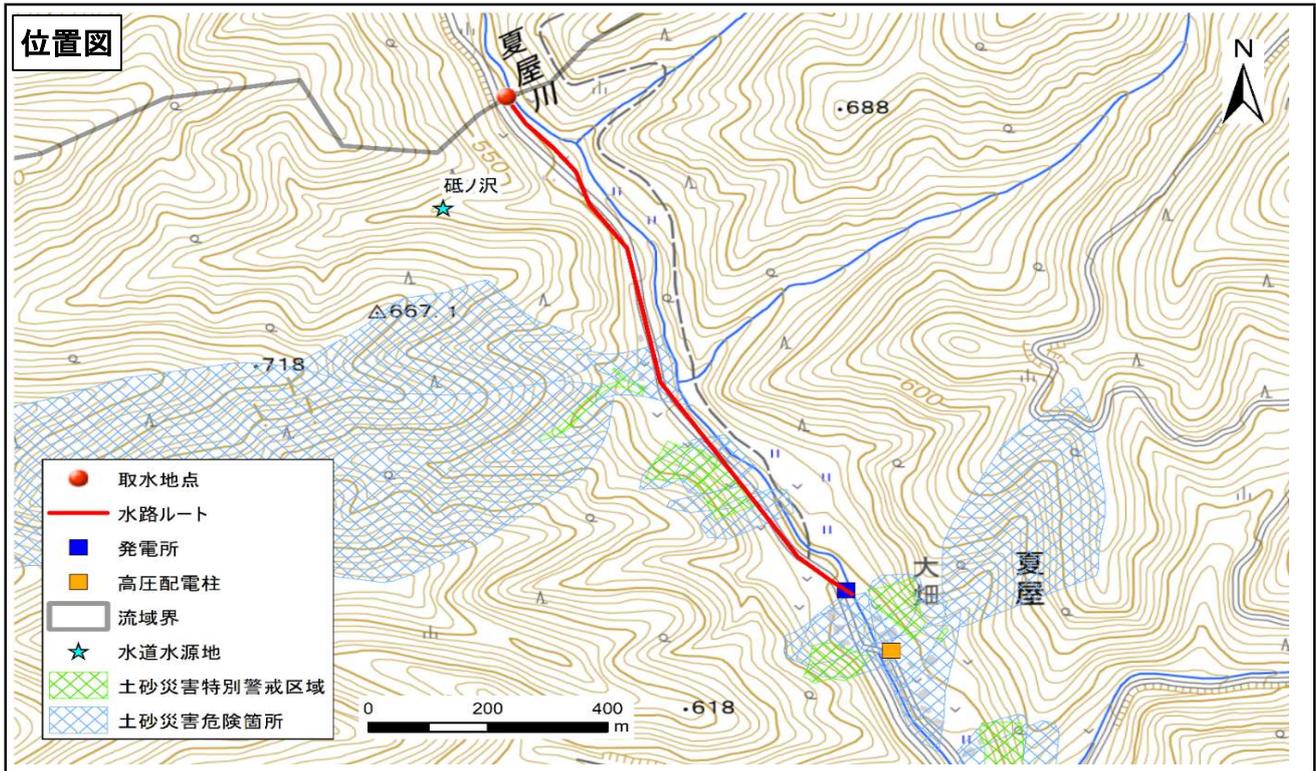
安庭沢発電所

- | | | | | | | | |
|--|-------|--|----------|--|-----------------|--|------------|
| | 取水地点 | | 流域界 | | 水道水源保護区域 | | 県指定鳥獣保護区 |
| | 水路ルート | | 国、県指定文化財 | | 国有林・保安林 | | カモシカ保護地域 |
| | 発電所 | | 宮古市指定文化財 | | 民有林・保安林 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 高圧配電柱 | | 水道水源地 | | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | | 土砂災害危険箇所 |



P07

地点 No.	08
地点名称	夏屋川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(普通河川)
施設名称	夏屋えん堤
施設管理者	宮古土木センター



[現地状況]

地点No.	08	地点名称	夏屋川
-------	----	------	-----



取水候補地正面(夏屋えん堤、宮古土木センター)。



砂防えん堤銘板(夏屋えん堤、宮古土木センター)。



砂防指定地標識(夏屋川、宮古土木センター)。



砂防えん堤堆砂状況(満砂)。



砂防えん堤下流右岸側の沈砂池に利活用可能な土地。



砂防えん堤右岸側と林道の接続がよい。

〔現地状況〕

地点No. 08

地点名称

夏屋川



放水候補地河道正面。



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。



発電所候補地および資材置き場等に活用できる土地。



発電所候補地は集落の上流側である。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(夏屋線86)。

〔補足事項〕

地点No.	08	地点名称	夏屋川
-------	----	------	-----

・コメント

流 況	流量0.4m ³ /s程度、川幅5.5m、水深0.15m、流速0.5m/s(令和5年11月20日、晴)
落 差	取水候補地から現道下設置により落差50m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(夏屋線86)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	集落・住家に近く、騒音等に留意する必要がある。
そ の 他	・発電所候補地は集落上流側への整備となる。 ・近隣に砥ノ沢水源が存在する。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--



宮古市

08 夏屋川

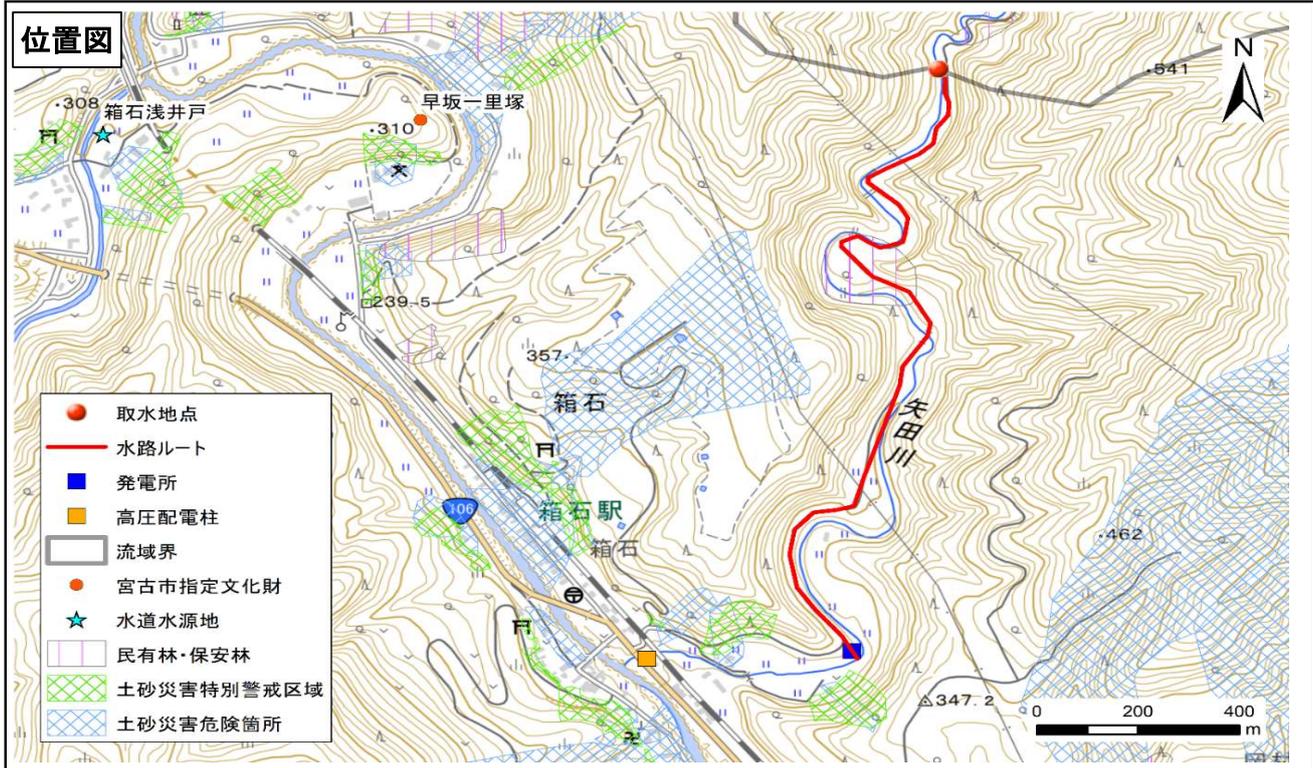
砥ノ沢

- | | | | | | | | |
|--|-------|--|----------|--|-----------------|--|------------|
| | 取水地点 | | 流域界 | | 水道水源保護区域 | | 県指定鳥獣保護区 |
| | 水路ルート | | 国、県指定文化財 | | 国有林・保安林 | | カモシカ保護地域 |
| | 発電所 | | 宮古市指定文化財 | | 民有林・保安林 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 高圧配電柱 | | 水道水源地 | | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | | 土砂災害危険箇所 |



P08

地点 No.	09
地点名称	矢田川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(普通河川)
施設名称	昭和61年度治山事業
施設管理者	岩手県



〔現地状況〕

地点No.	09	地点名称	矢田川
-------	----	------	-----



取水候補地正面(昭和61年度治山事業、岩手県)。



取水候補地下流左岸側の沈砂池に利活用可能な土地。



治山施設銘板(昭和61年度治山事業、岩手県)。



堰堤堆砂状況(満砂)。



堰堤水通し(天端幅1.5m)。



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。

〔現地状況〕

地点No. 09

地点名称

矢田川



放水候補地河道正面。



発電所候補地および資材置き場等に活用できる土地。



放水ルート橋梁通過部(無名橋)。



林道から発電所候補地への接続がよい。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(川井線51)。

〔補足事項〕

地点No.	09	地点名称	矢田川
-------	----	------	-----

・コメント

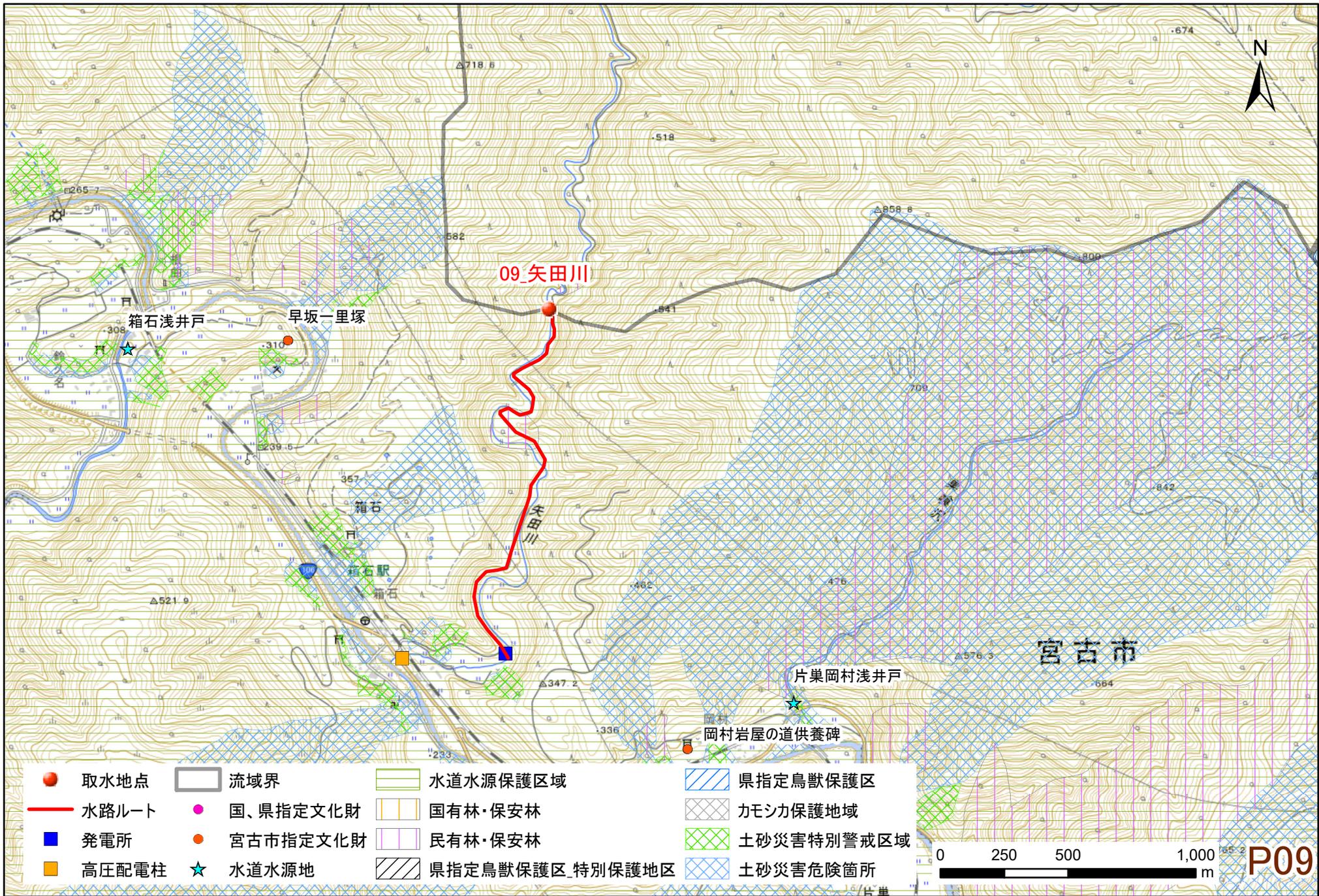
流 況	流量1.2m ³ /s程度、川幅6.2m、水深0.25m、流速0.8m/s(令和5年11月27日、曇)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差50m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(川井線51)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	施工性や周辺環境等に課題が少ない。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

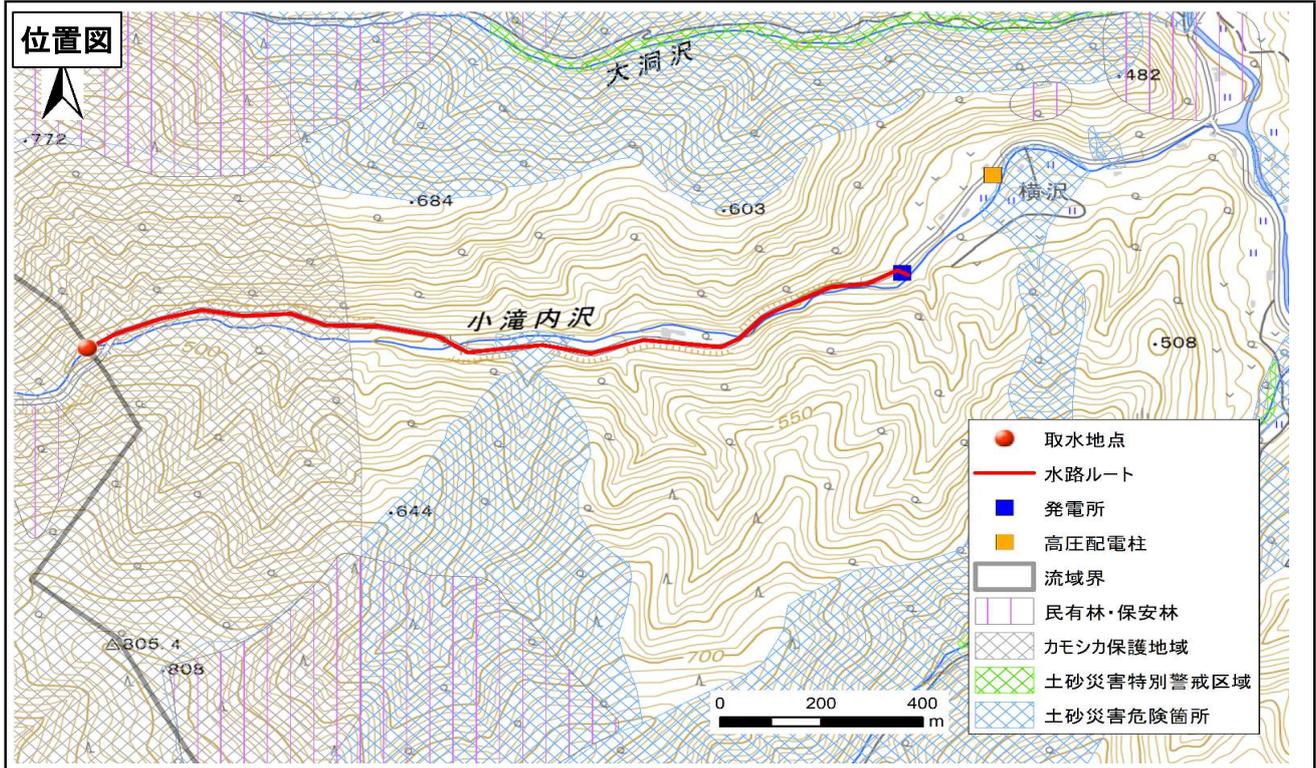
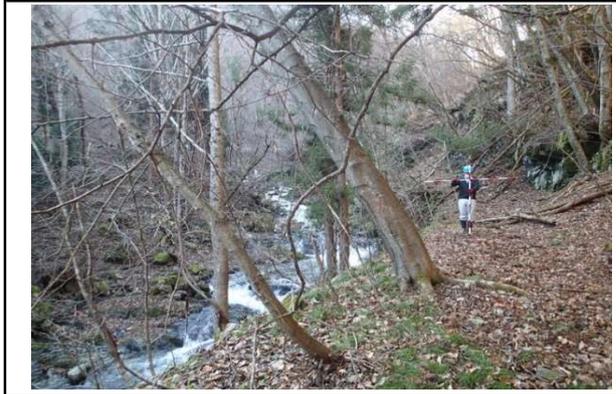
・関連協議先

--



降のデータは含まれておりません。

地点 No.	10
地点名称	小滝内沢
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設 参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(普通河川)
施設名称	—
施設管理者	—



〔現地状況〕

地点No.	10	地点名称	小滝内沢
-------	----	------	------



取水候補地正面(堰堤新設)。



取水候補地下流側の現況。



沈砂池に利活用可能な土地(左岸側)がある。



放水ルート上流側の橋梁通過部(栗木平橋)。



道路は順勾配のため放水ルート設置に適している。



放水ルート下流側の橋梁通過部(無名橋)。



無名橋付近の放水ルート(画面奥建物は静峰苑)。

〔現地状況〕

地点No.	10	地点名称	小滝内沢
-------	----	------	------



放水候補地正面。



発電所候補地と道路の接続がよい。



発電所候補地および資材置き場等に利活用できる土地。



発電所候補地下流側の現況。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(横沢線73西10)。

〔補足事項〕

地点No.	10	地点名称	小滝内沢
-------	----	------	------

・コメント

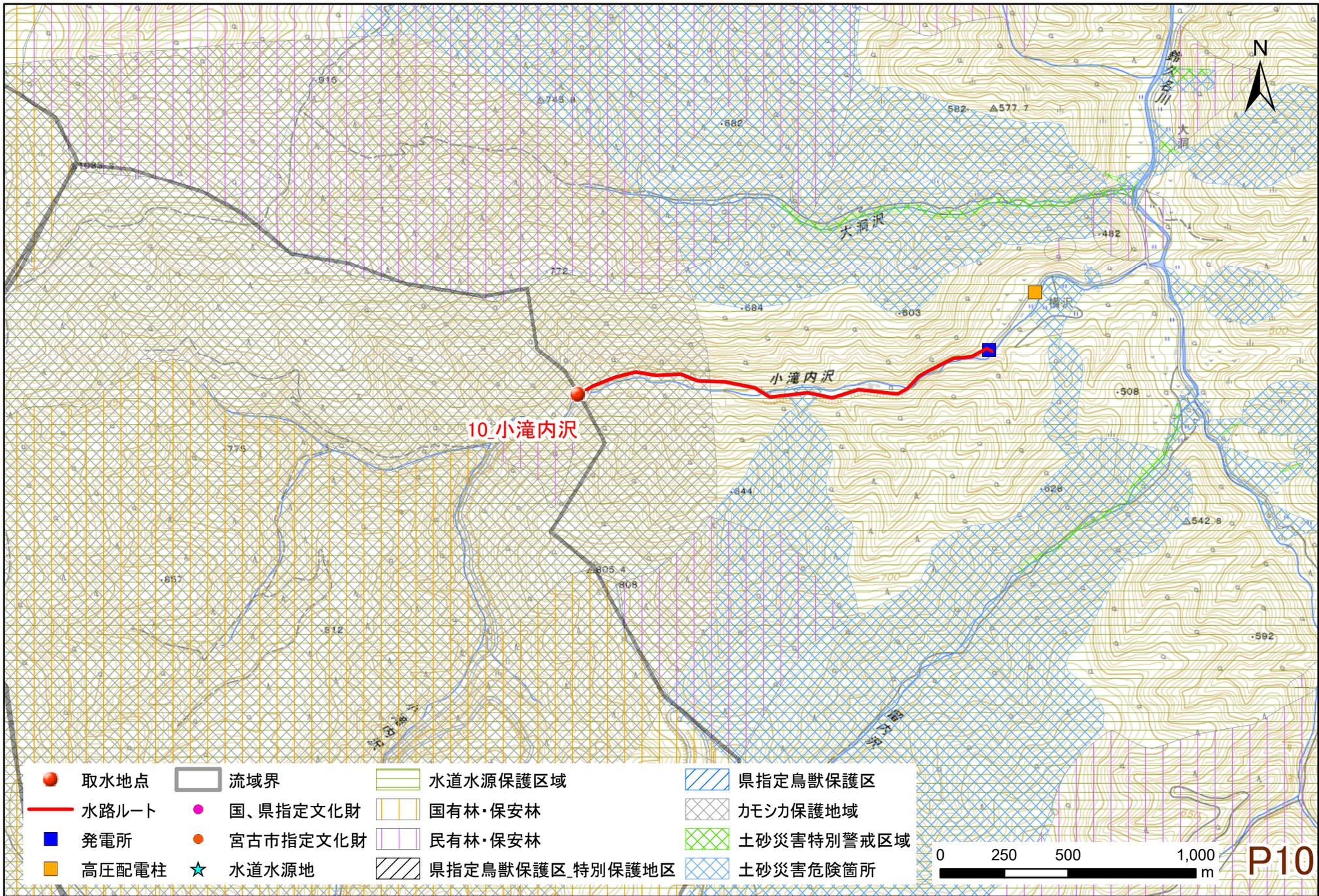
流 況	流量1.8m ³ /s程度、川幅6.0m、水深0.45m、流速0.7m/s(令和5年11月21日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差110m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(横沢線73西10)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	・施工性や周辺環境等に課題が少ない。 ・取水候補地はカモシカ保護地域内に位置している。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

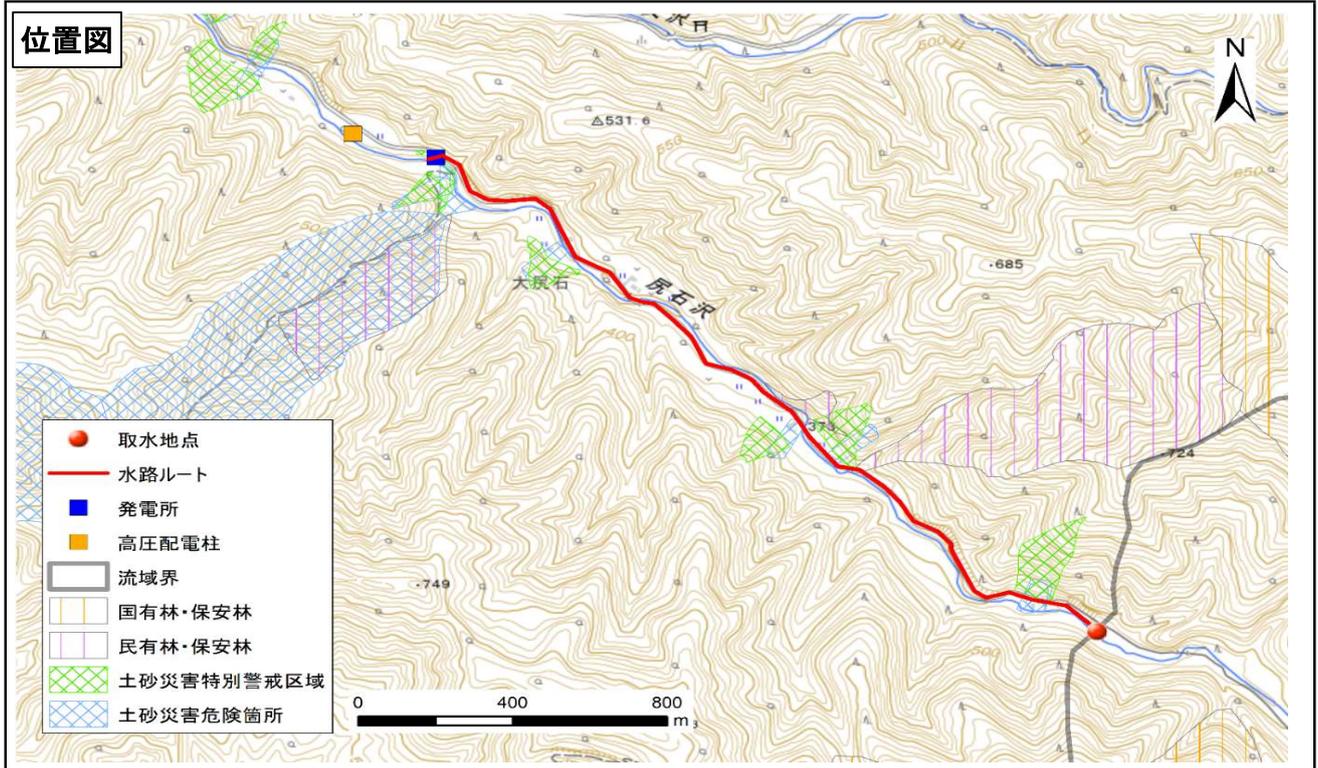
・法規制関連協議先

--



- | | | | |
|-------|----------|-----------------|------------|
| 取水地点 | 流域界 | 水道水源保護区域 | 県指定鳥獣保護区 |
| 水路ルート | 国、県指定文化財 | 国有林・保安林 | カモシカ保護地域 |
| 発電所 | 宮古市指定文化財 | 民有林・保安林 | 土砂災害特別警戒区域 |
| 高圧配電柱 | 水道水源地 | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | 土砂災害危険箇所 |

地点 No.	11
地点名称	尻石沢
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(準用河川)
施設名称	尻石沢堰堤
施設管理者	宮古土木センター

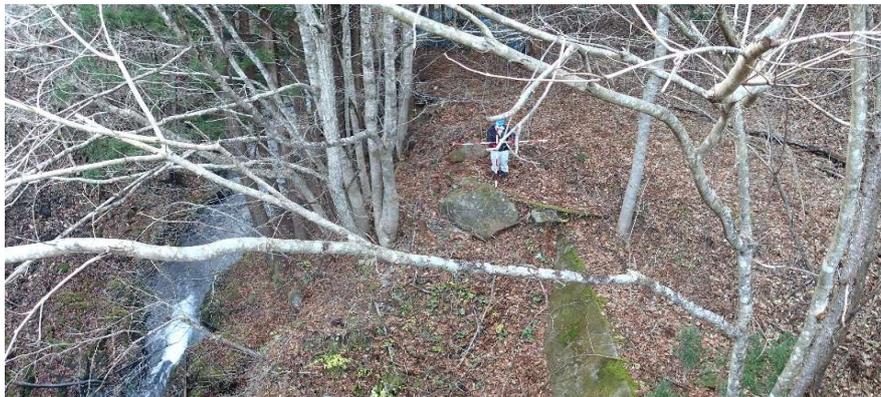


〔現地状況〕

地点No.	11	地点名称	尻石沢
-------	----	------	-----



取水候補地正面(尻石沢堰堤、宮古土木センター)。



砂防堰堤下流右岸側の沈砂池に利活用可能な土地。



砂防堰堤右岸側と林道の接続がよい。



堰堤堆砂状況(満砂)。



堰堤水通し(天端幅2.4m)。

〔現地状況〕

地点No.	11	地点名称	尻石沢
-------	----	------	-----



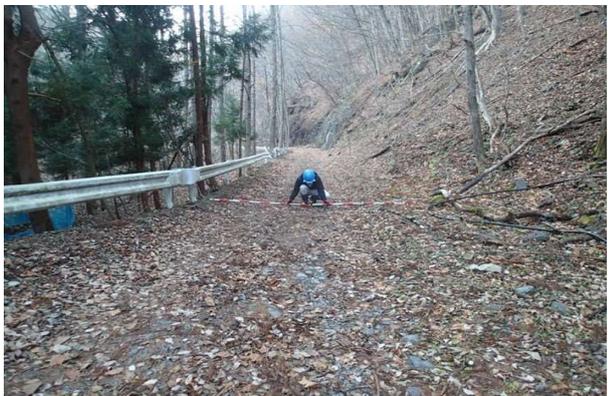
砂防指定地標識(小国川右小支川尻石川)。



堰堤銘板(尻石沢堰堤、堤長52m、堤高9.5m、S52.12)。



放水候補地河道正面。



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。



放水ルート橋梁通過部(無名橋)。



発電所候補地と道路の接続はよい。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(尻石線44)。

〔補足事項〕

地点No.	11	地点名称	尻石沢
-------	----	------	-----

・コメント

流 況	流量1.4m ³ /s程度、川幅3.7m、水深0.30m、流速1.3m/s(令和5年11月21日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差90m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(尻石線44)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	取水候補地に施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。 発電所候補地近傍に土地利用可能な場所が少ない。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	発電所候補地近傍に土地利用可能な場所が少ないものの、全体的には施工性や周辺環境等に課題が少ない。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

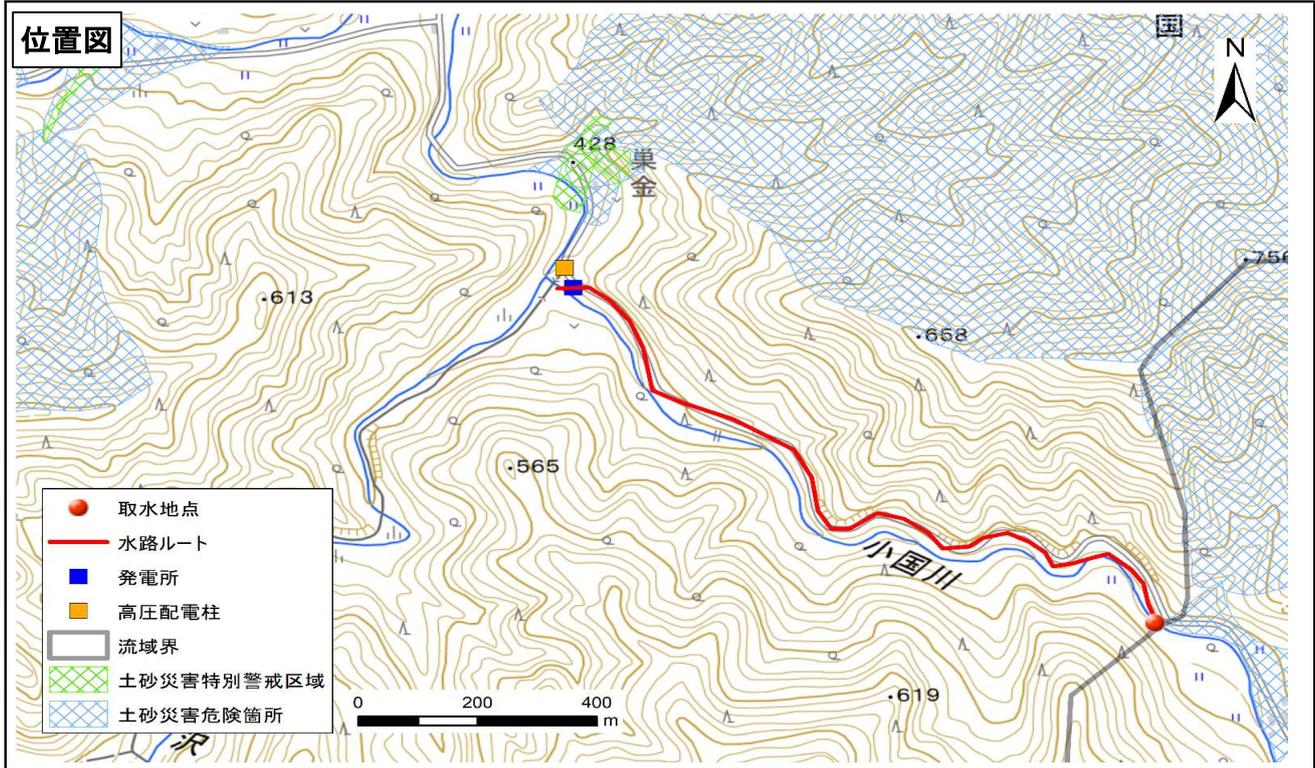
・関連協議先

--



P11

地点 No.	12
地点名称	小国川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設 参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(準用河川)
施設名称	—
施設管理者	—



[現地状況]

地点No.	12	地点名称	小国川
-------	----	------	-----



取水候補地正面(堰堤新設)。



取水候補地右岸と林道の接続がよい。



取水候補地下流右岸側の沈砂池に利活用可能な土地。



林道と取水候補地の高低差が4m程度。

〔現地状況〕

地点No.	12	地点名称	小国川
-------	----	------	-----



放水候補地河道正面。



放水候補地右岸側に発電所および資材置き場等に利活用できる土地がある。



路は順勾配のため放水ルートに適している。



発電所候補地下流側、熊穴沢との合流部。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(大仁田線15)。

〔補足事項〕

地点No.	12	地点名称	小国川
-------	----	------	-----

・コメント

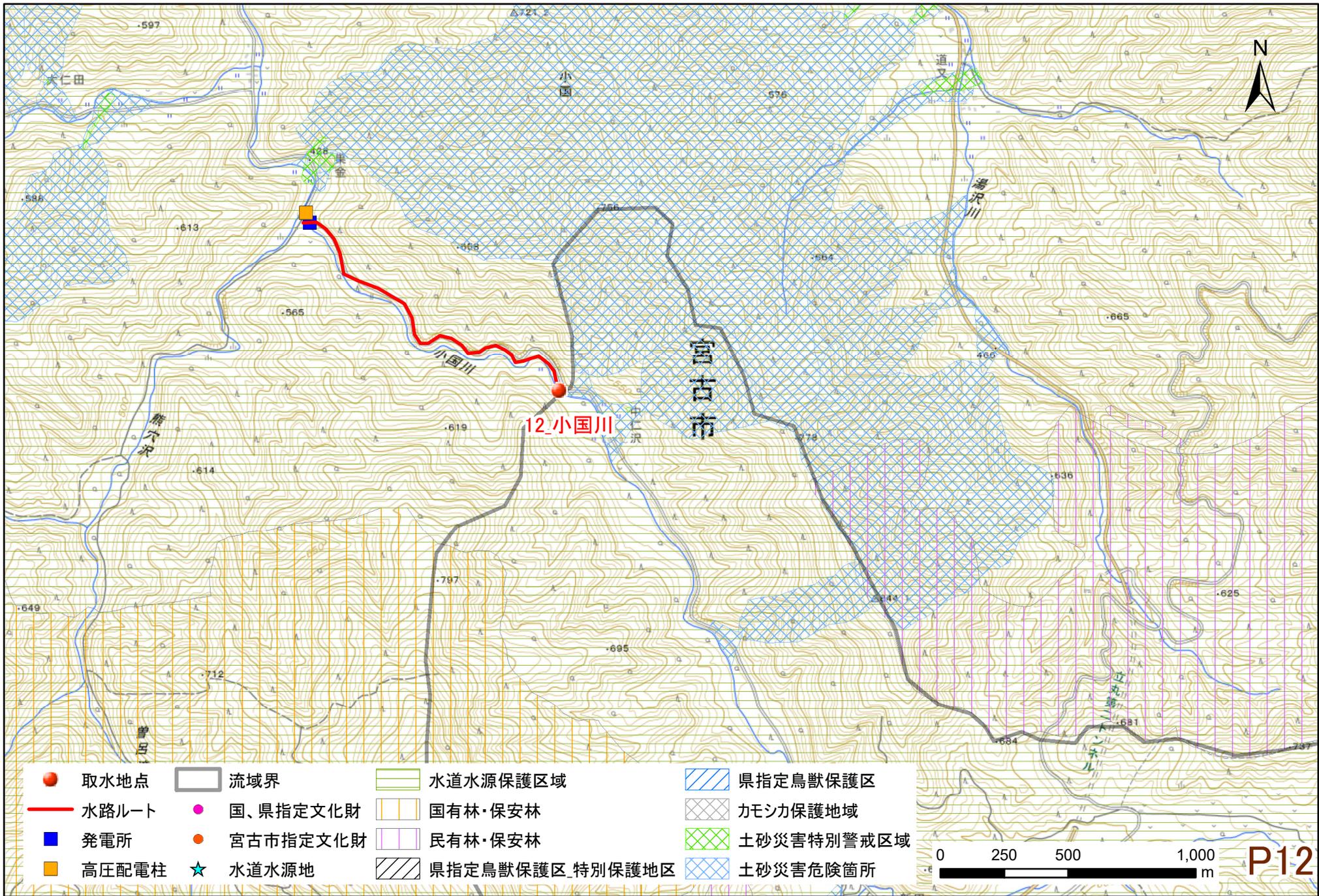
流 況	流量0.6m ³ /s程度、川幅8.3m、水深0.18m、流速0.4m/s(令和5年11月21日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差60m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(大仁田線15)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	施工性や周辺環境等に課題が少ない。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

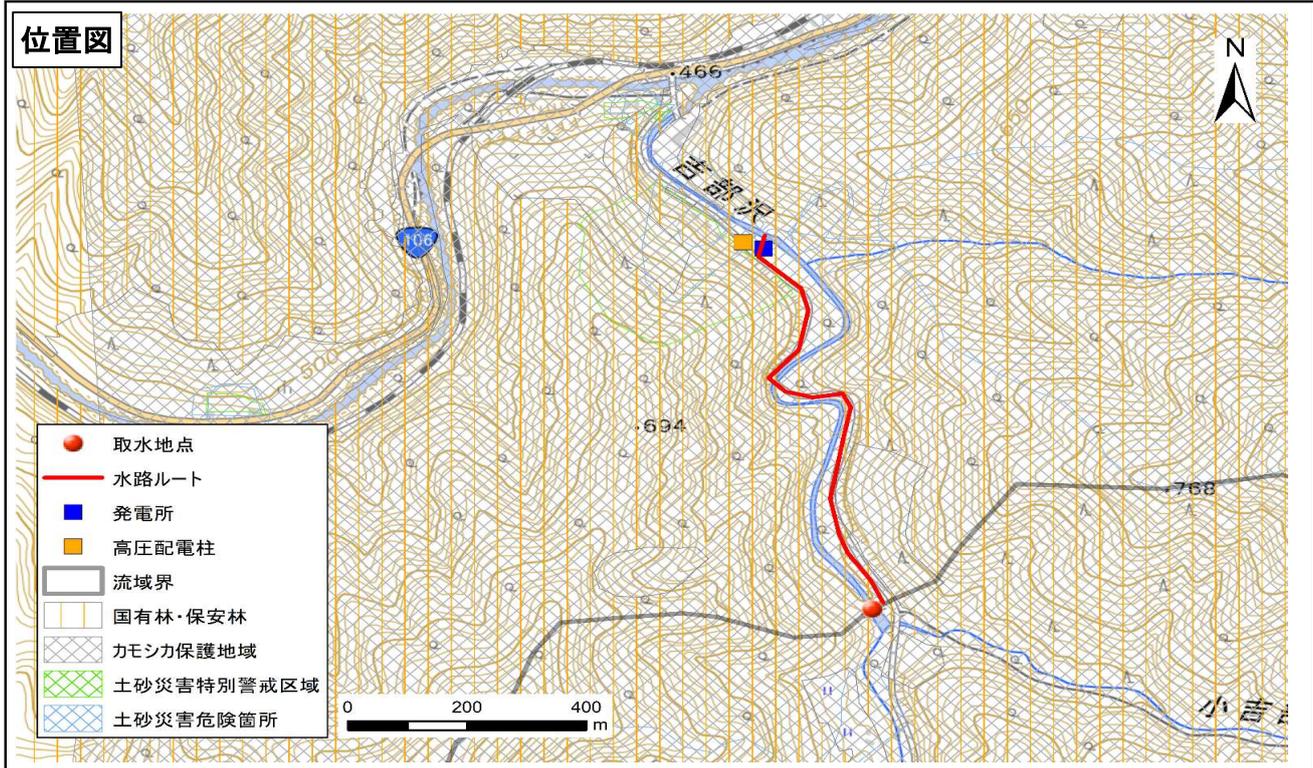
※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--



地点 No.	13
地点名称	吉部沢
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(普通河川)
施設名称	昭和56年度吉部沢床固
施設管理者	三陸北部森林管理署



[現地状況]

地点No.	13	地点名称	吉部沢
-------	----	------	-----



取水候補地正面(昭和56年度吉部沢床固、三陸北部森林管理署)。



取水候補地下流右岸側の沈砂池に利活用可能な土地。



治山施設銘板(昭和56年度吉部沢床固)。



治山施設右岸側と林道の接続がよい。



堰堤堆砂状況(満砂)。



放水ルート橋梁通過部(吉部沢橋)。

〔現地状況〕

地点No.	13	地点名称	吉部沢
-------	----	------	-----



放水候補地河道正面。



発電所候補地下流側の河道現況。



発電所候補地左岸側の資材置き場等に活用できる土地。



林道は順勾配のため放水ルート設置に適している。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(平津戸線7)。

〔補足事項〕

地点No.	13	地点名称	吉部沢
-------	----	------	-----

・コメント

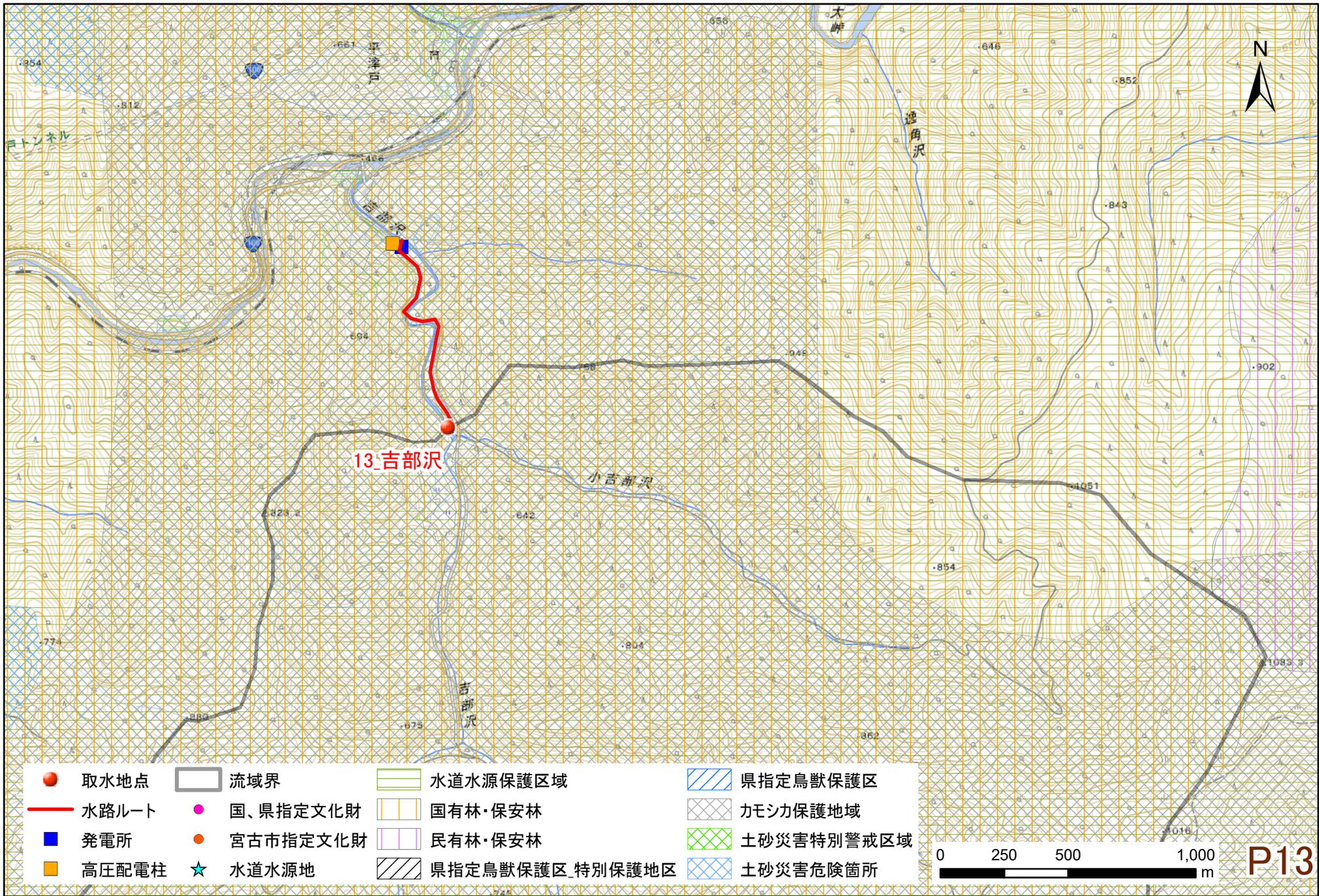
流 況	流量2.3m ³ /s程度、川幅13.4m、水深0.40m、流速0.4m/s(令和5年11月21日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差30m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(平津戸線7)が近接。
接 道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施 工 性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	・施工性や周辺環境等に課題が少ない。 ・取水候補地、発電所候補地共に国有林保安林内に位置している。 ・取水候補地、発電所候補地共にカモシカ保護地域内に位置している。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

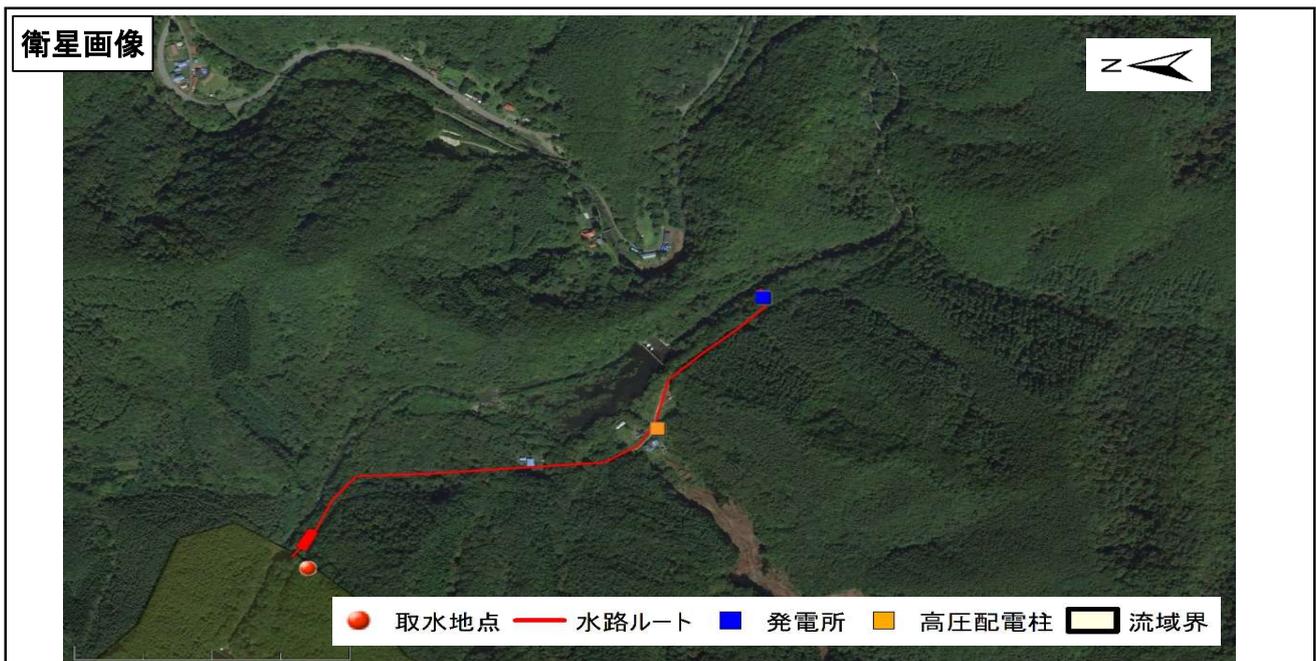
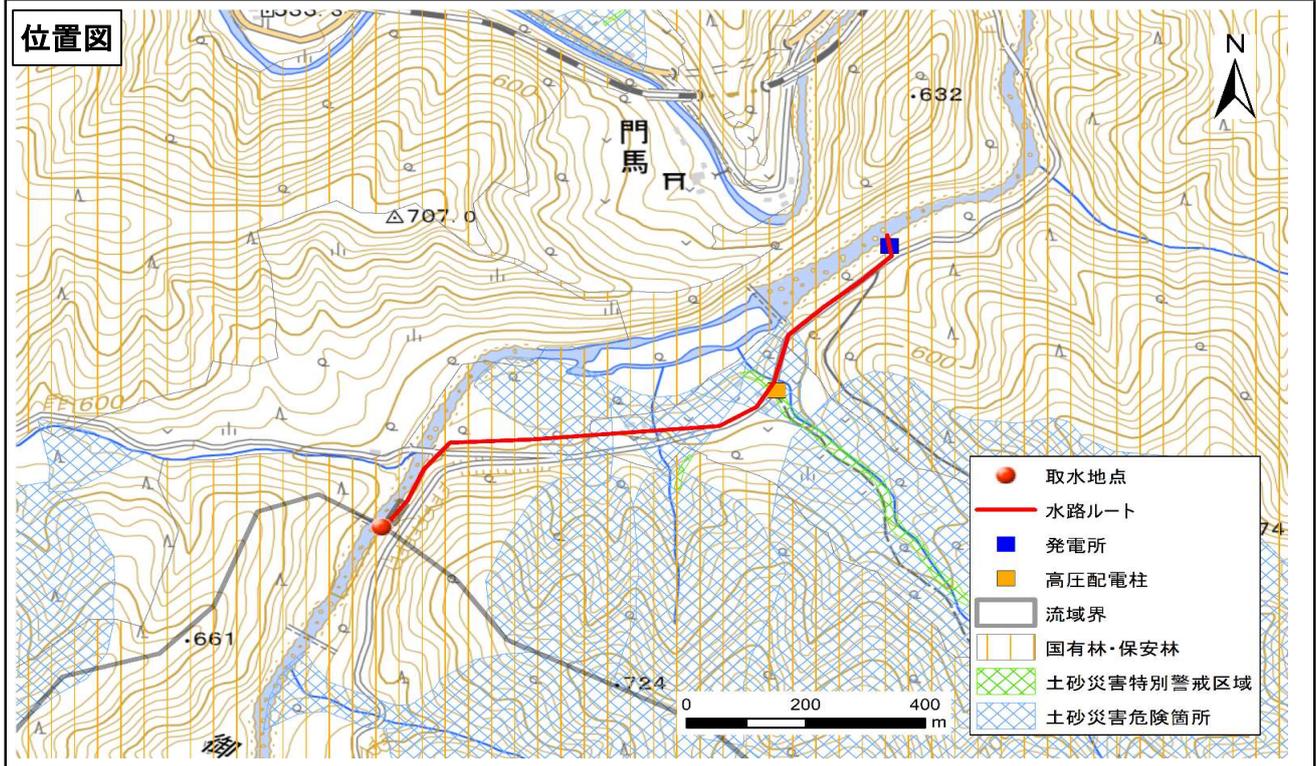
※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--



地点 No.	14
地点名称	御山川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設 参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(普通河川)
施設名称	不明
施設管理者	不明



〔現地状況〕

地点No.	14	地点名称	御山川
-------	----	------	-----



取水候補地遠景（取水候補地と林道の高低差が25m程度）。
堰堤下流右岸側に沈砂池に活用できる土地がある。



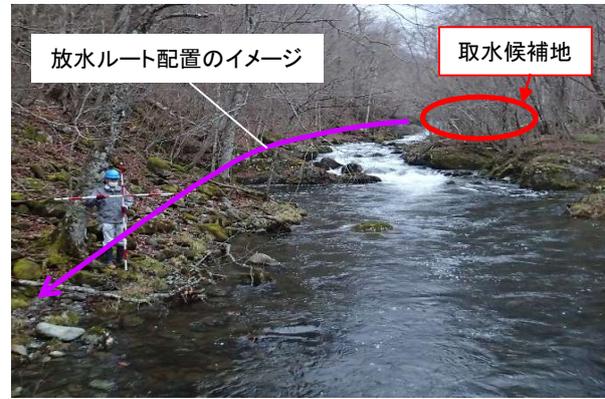
堰堤堆砂状況（満砂）。



沈砂池に活用できる土地遠景（堰堤下流右岸側）。



取水地点近傍の林道。



取水候補地遠景および放水ルート配置のイメージ。



取水候補地より170m下流側、林道通過部の河道現況。

[現地状況]

地点No.	14	地点名称	御山川
-------	----	------	-----



取水候補地より170m下流側林道通過部(無名橋)。



放水ルート橋梁通過部(早池峰3号橋)。



放水候補地河道正面。



河道右岸側の河岸段丘に発電所候補地に活用可能な土地がある。



発電所候補地近傍の道路脇に資材置き場等に活用できる土地がある。



発電所候補地最寄りの高圧配電柱(区界線256南12)。

〔補足事項〕

地点No.	14	地点名称	御山川
-------	----	------	-----

・コメント

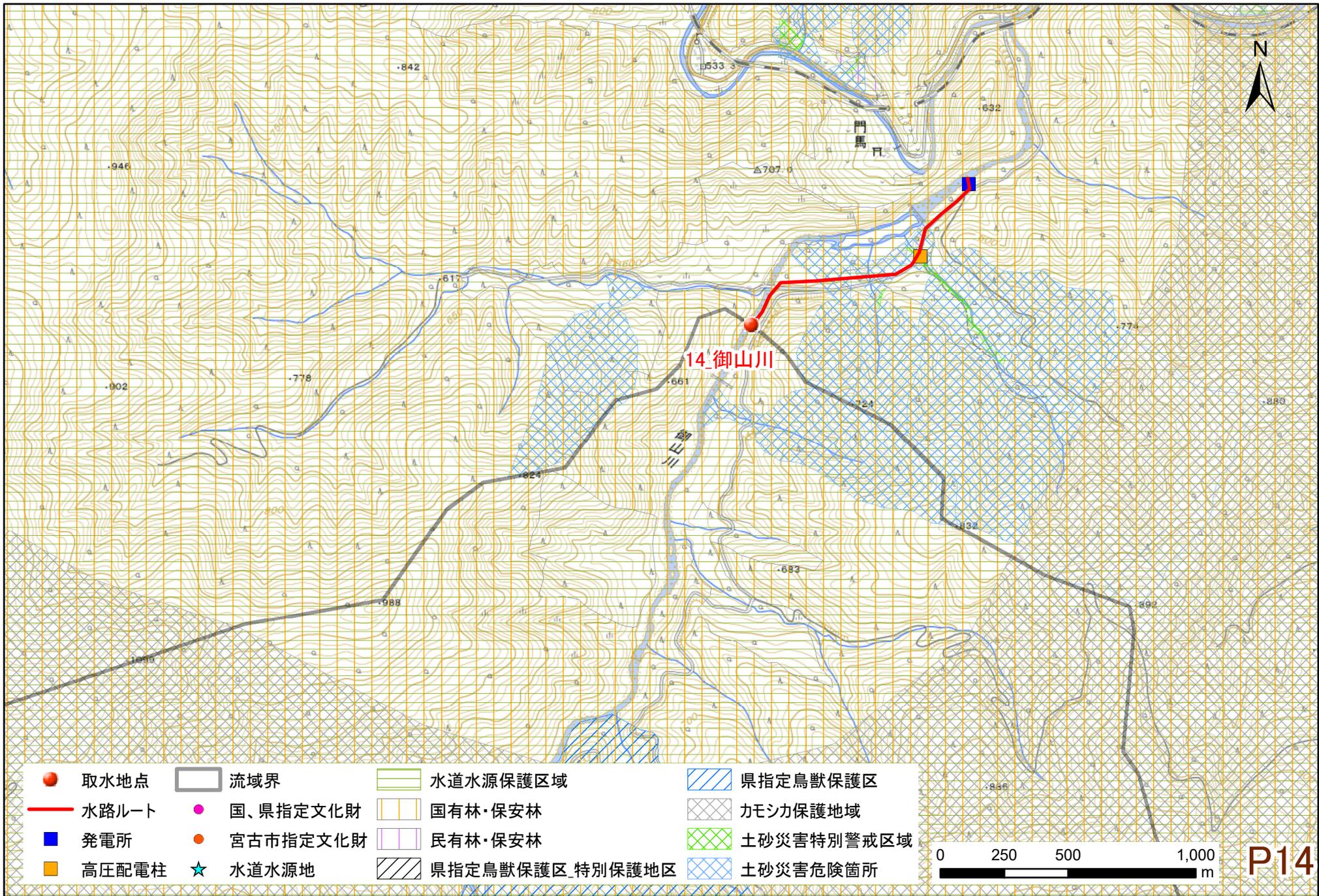
流 況	流量3.9m ³ /s程度、川幅22.2m、水深0.30m、流速0.6m/s(令和5年11月21日、晴)
落 差	取水候補地から河道脇および現道下設置により落差20m程度。
送 電	最寄りの高圧配電柱(区界線256南12)が近接。
接 道	発電所候補地から右岸側約40mに道路があり、交通量が少ない。
施 工 性	取水候補地と近傍の林道に高低差があるため河道脇に沈砂池を設けることとなる。
周辺環境	近隣に住家が少ない。
そ の 他	・取水候補地周辺の河岸段丘は近傍林道から高低差がある。 ・取水候補地、発電所候補地共に国有林保安林内に位置している

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

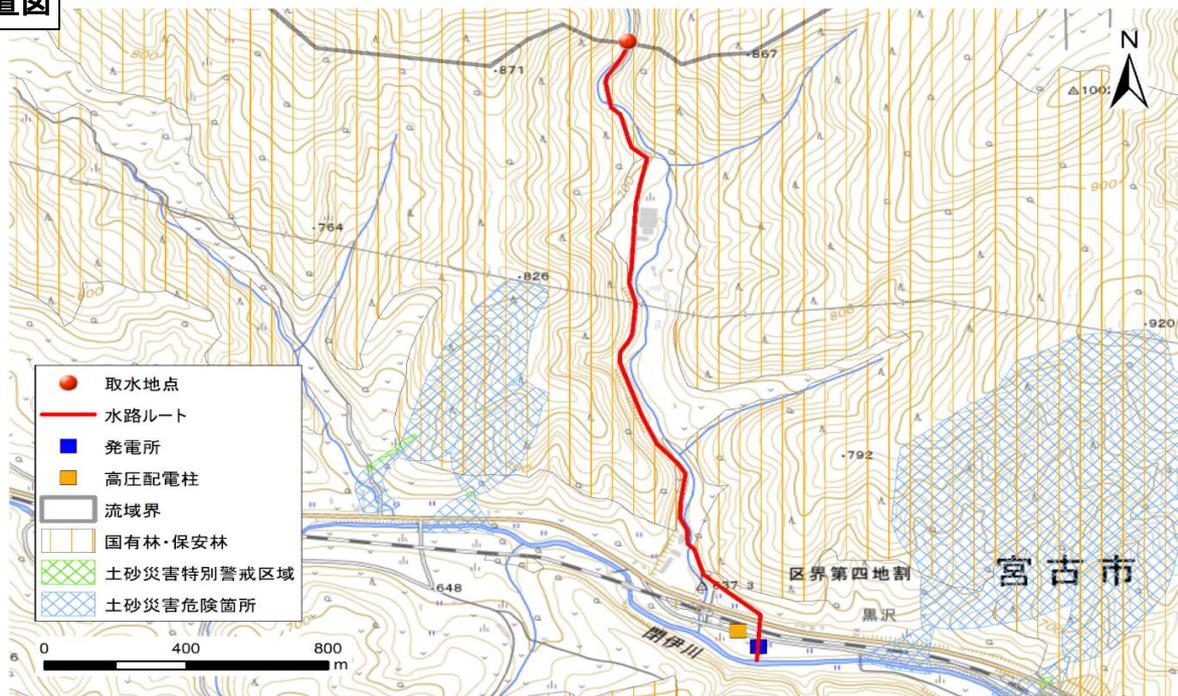
--



地点 No.	15
地点名称	黒沢
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	宮古市(普通河川)
施設名称	—
施設管理者	—



位置図



衛星画像



〔現地状況〕

地点No.

15

地点名称

黒沢



取水候補地河道正面(堰堤新設)。



取水候補地より流下方向。



沈砂池に利活用可能な土地。



取水候補地と林道の接続がよい。



放水ルート上流側の橋梁通過部(無名橋)。



放水ルート下流側の橋梁通過部(無名橋)。



道路は順勾配のため放水ルートに適している。

[現地状況]

地点No. 15

地点名称

黒沢



放水ルート中間付近、株式会社ウツィかわい付近の林道現況。



放水ルート中間付近の土地利用状況(株式会社ウツィかわい遠景)。



放水ルート中間付近の土地利用状況(園芸所)。



発電候補地最寄りの高圧配電柱(NTT東17左3)。



放水候補地遠景。



発電所候補地および資材置き場等に利活用できる土地がある。

〔補足事項〕

地点No.	15	地点名称	黒沢
-------	----	------	----

・コメント

流況	流量1.0m ³ /s程度、川幅6.5m、水深0.25m、流速0.6m/s(令和5年11月20日、晴)
落差	取水候補地から現道下設置により落差90m程度。
送電	最寄りの高圧配電柱(NTT東17左3)が近接。
接道	発電所候補地に道路が近接し、交通量が少ない。
施工性	発電所を施工する場所や資材置き場等に利活用できる土地がある。
周辺環境	発電所候補地は人家より約100mの距離がある。
その他	・放水ルートの下流側は国道106号線、JR山田線を横断するルートとなる。 ・取水候補地は国有林保安林内に位置している。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

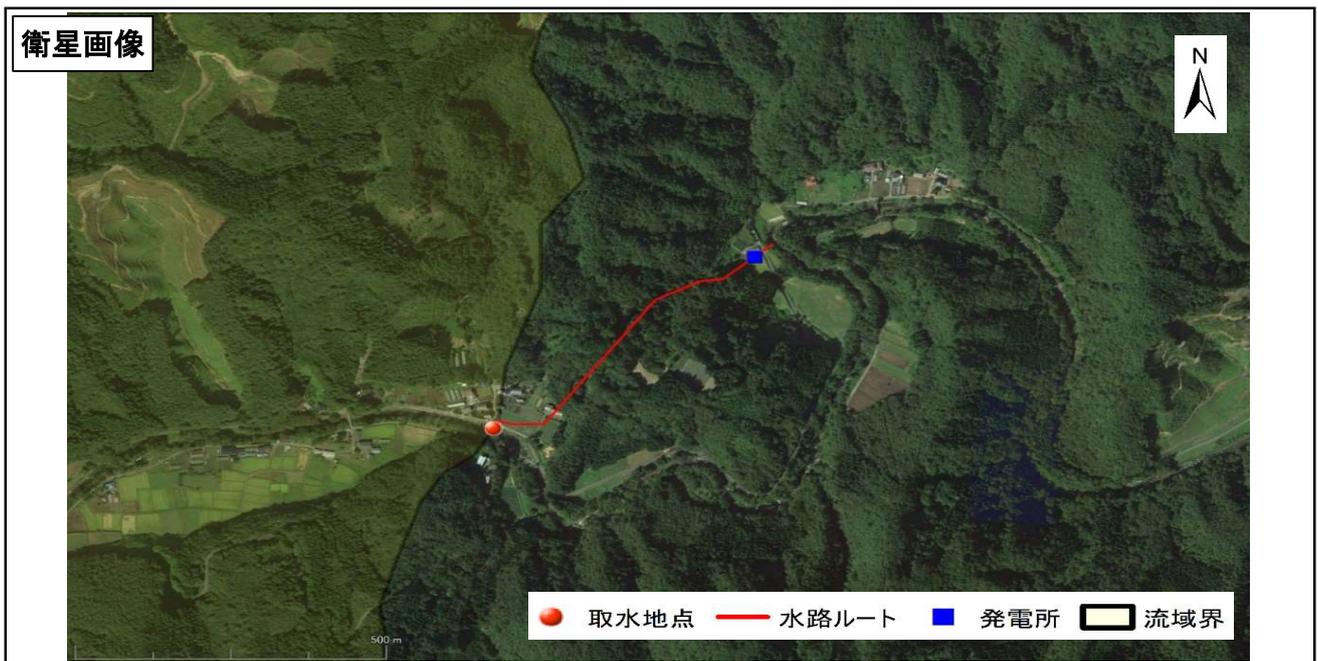
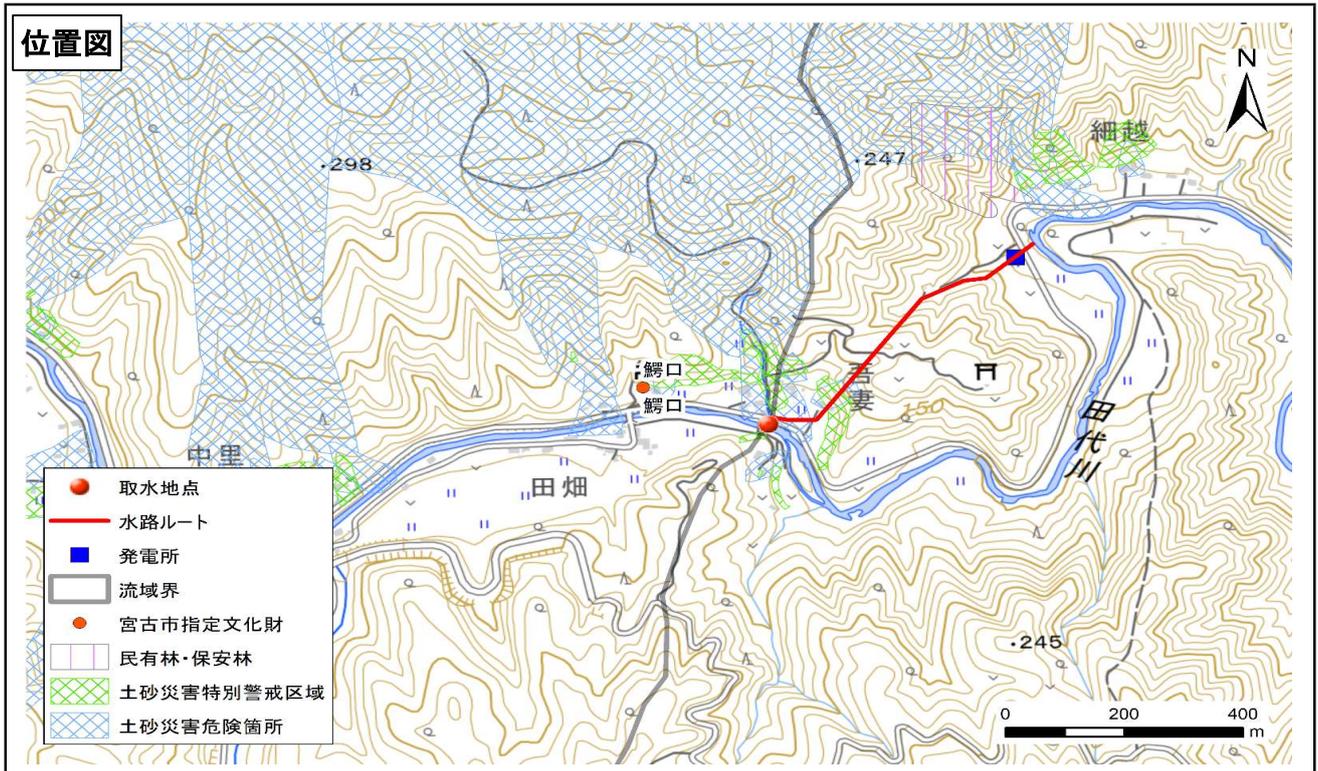
・関連協議先

--



- | | | | | | | | |
|--|-------|--|----------|--|-----------------|--|------------|
| | 取水地点 | | 流域界 | | 水道水源保護区域 | | 県指定鳥獣保護区 |
| | 水路ルート | | 国、県指定文化財 | | 国有林・保安林 | | カモシカ保護地域 |
| | 発電所 | | 宮古市指定文化財 | | 民有林・保安林 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 高圧配電柱 | | 水道水源地 | | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | | 土砂災害危険箇所 |

地点 No.	A
地点名称	田代川(吾妻)
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	岩手県(二級河川)
施設名称	—
施設管理者	—



[現地状況]

地点No.	A	地点名称	田代川(吾妻)
-------	---	------	---------



取水口跡、左支川からも取水していたとのこと。



田代川本川の取水地点は不明である。



導水路跡。導水路トンネルのルートは不明である。



導水路跡



水槽跡。No.B 田代川(馬場)の水槽跡に比べ大きく、使用水量が多かったと考えられる。



水圧管路跡、給気管が見える。



余水路跡

〔現地状況〕

地点No.	A	地点名称	田代川(吾妻)
-------	---	------	---------



発電所があったと推定される段丘面と水圧管路跡の遠景



放水地点(推定)

[補足事項]

地点No.	A	地点名称	田代川(吾妻)
-------	---	------	---------

・コメント

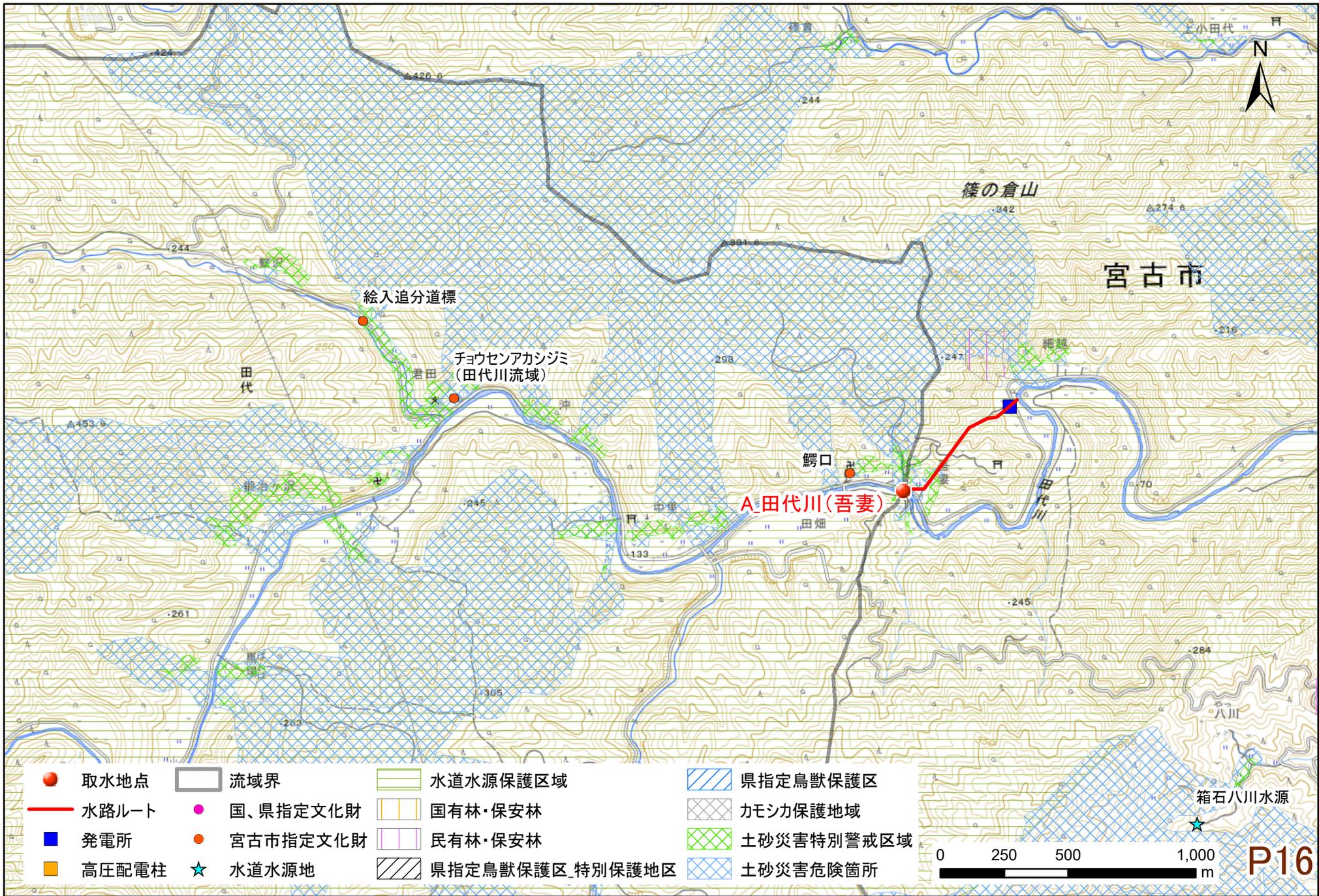
取水部	取水堰の新設が必要。
導水部	既設導水トンネルにおいては、工事・メンテナンス時の安全衛生の観点からさらなる断面確保・支保工整備が必要。 既設導水路は老朽化が進んでいるため、新規敷設が必要(導水路断面への樹脂管配置による、多少の工費削減が考えられる)。
水槽	既設水槽は、老朽化により既設撤去・新設が必要。
発電所	出力確保のため、敷高の再検討が必要。
全般	各設備の撤去・新設による工事費高騰が予想され、水力発電所跡地の利用は現実的ではない。工事費高騰を補うためにはより大きな発電規模が必要であるが、地形的要因(河川勾配が小さい等)から落差が小さいため、可能性は低い。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--



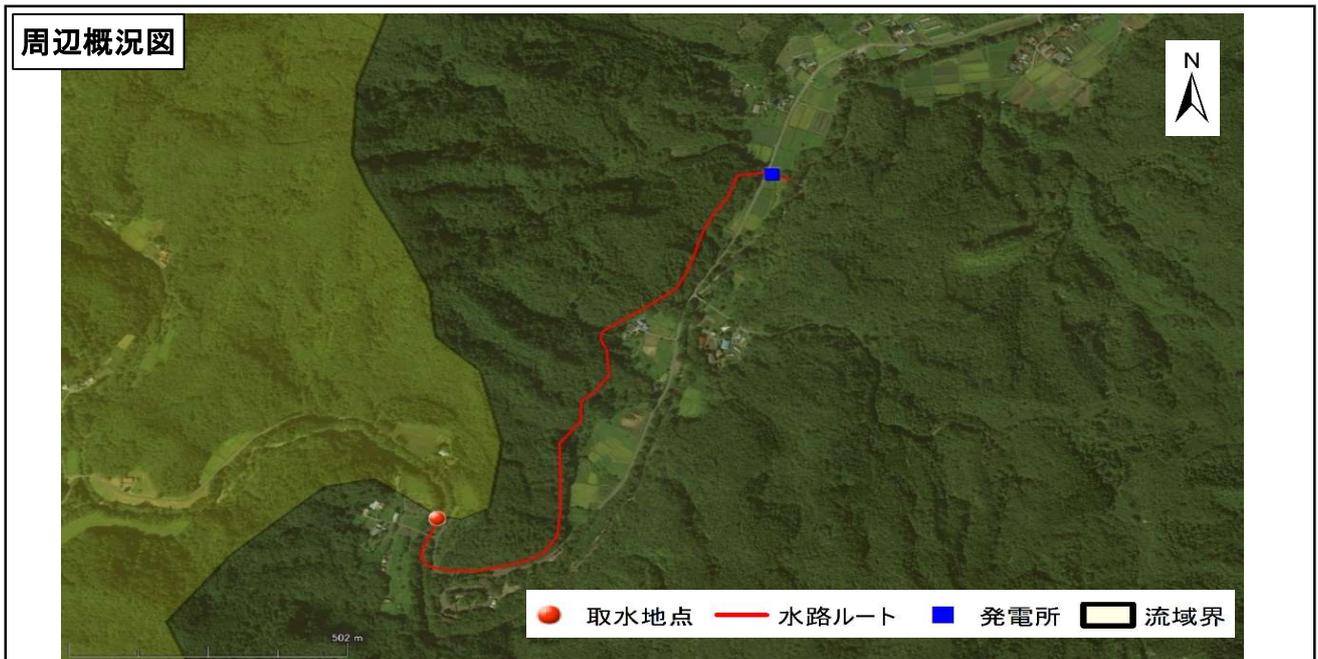
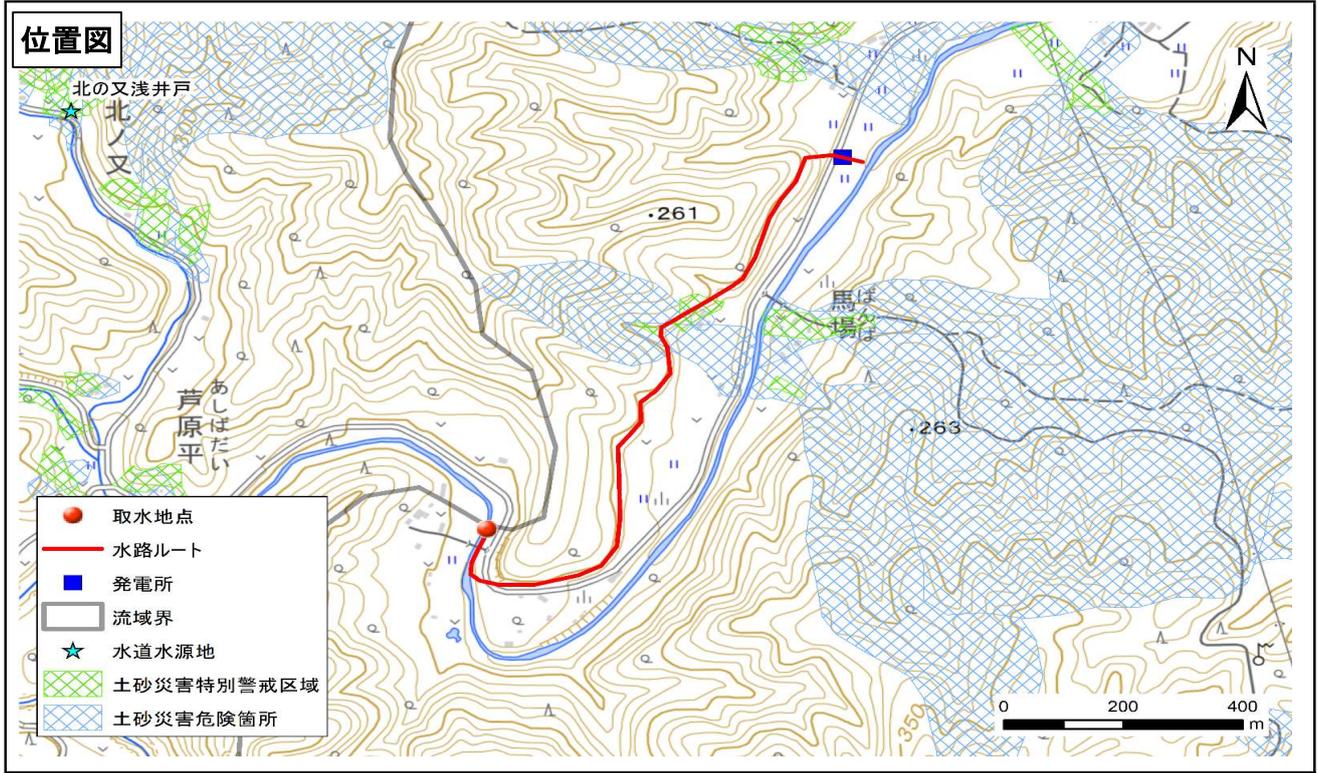
- | | | | | | | | |
|--|-------|--|----------|--|-----------------|--|------------|
| | 取水地点 | | 流域界 | | 水道水源保護区域 | | 県指定鳥獣保護区 |
| | 水路ルート | | 国、県指定文化財 | | 国有林・保安林 | | カモシカ保護地域 |
| | 発電所 | | 宮古市指定文化財 | | 民有林・保安林 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 高圧配電柱 | | 水道水源地 | | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | | 土砂災害危険箇所 |

箱石八川水源



P16

地点 No.	B
地点名称	田代川(馬場)
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	岩手県(二級河川)
施設名称	—
施設管理者	—



[現地状況]

地点No.	B	地点名称	田代川(馬場)
-------	---	------	---------



取水堰跡



沈砂池跡、導水路入口



導水路跡



導水は主要地方道で分断されている。



導水路跡(蓋渠形式)



導水路が等高線状に整備されている。



水路橋跡



導水路跡(蓋渠形式)

[現地状況]

地点No.	B	地点名称	田代川(馬場)
-------	---	------	---------



導水路跡(蓋渠形式)



水槽跡



余水路・排砂路跡



水圧鉄管跡



余水路跡



発電所地点(推定)

[補足事項]

地点No.	B	地点名称	田代川(馬場)
-------	---	------	---------

・コメント

取水部	取水堰の新設が必要。主要地方道宮古岩泉線と橋梁により、沈砂池スペース確保が困難である。
導水路部	主要地方道宮古岩泉線により、導水路が分断されている。 既設導水路は老朽化により新設が必要(導水路断面への樹脂管配置による、多少の工費削減が考えられる)。 水路橋は、耐震性能・通水量増加など各種要因により新設が必要。
水槽	既設水槽は、老朽化により既設撤去・新設が必要。
発電所	出力確保のため、敷高の再検討が必要。
全般	各設備の撤去・新設による工事費高騰が予想され、水力発電所跡地の利用は現実的ではない。工事費高騰を補うためにはより大きな発電規模が必要であるが、地形的要因(河川勾配が小さい等)から落差が小さいため、可能性は低い。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・関連協議先

--



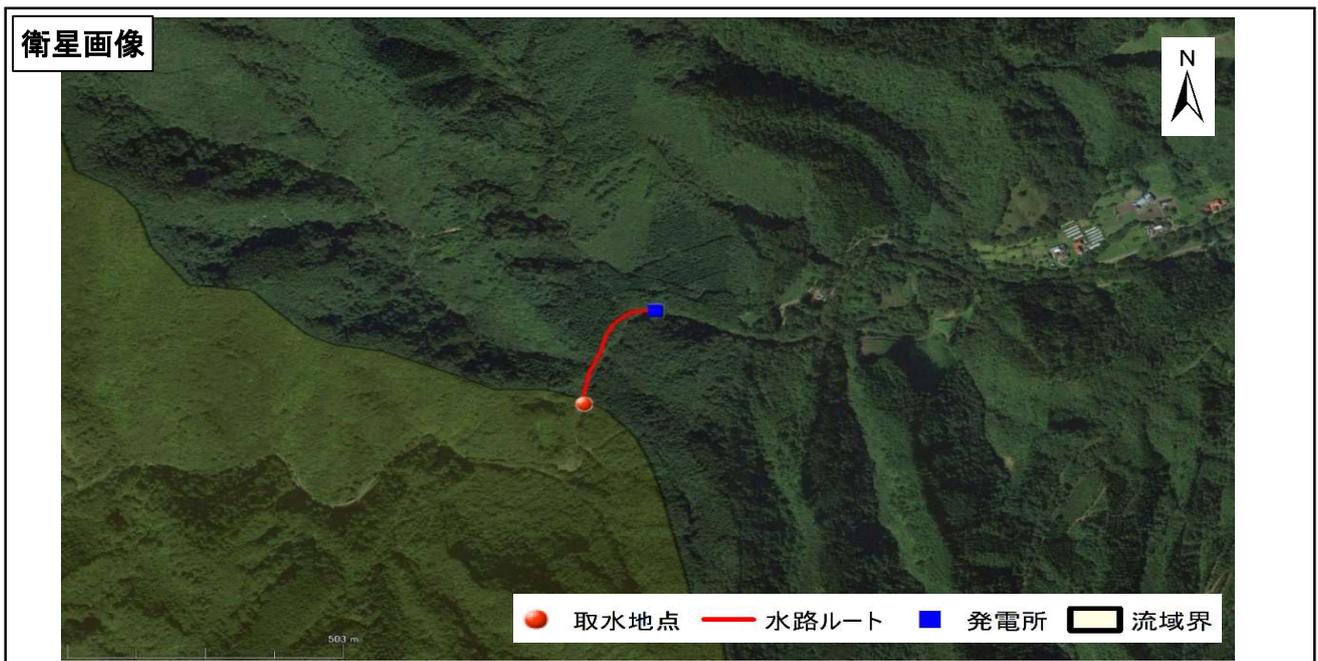
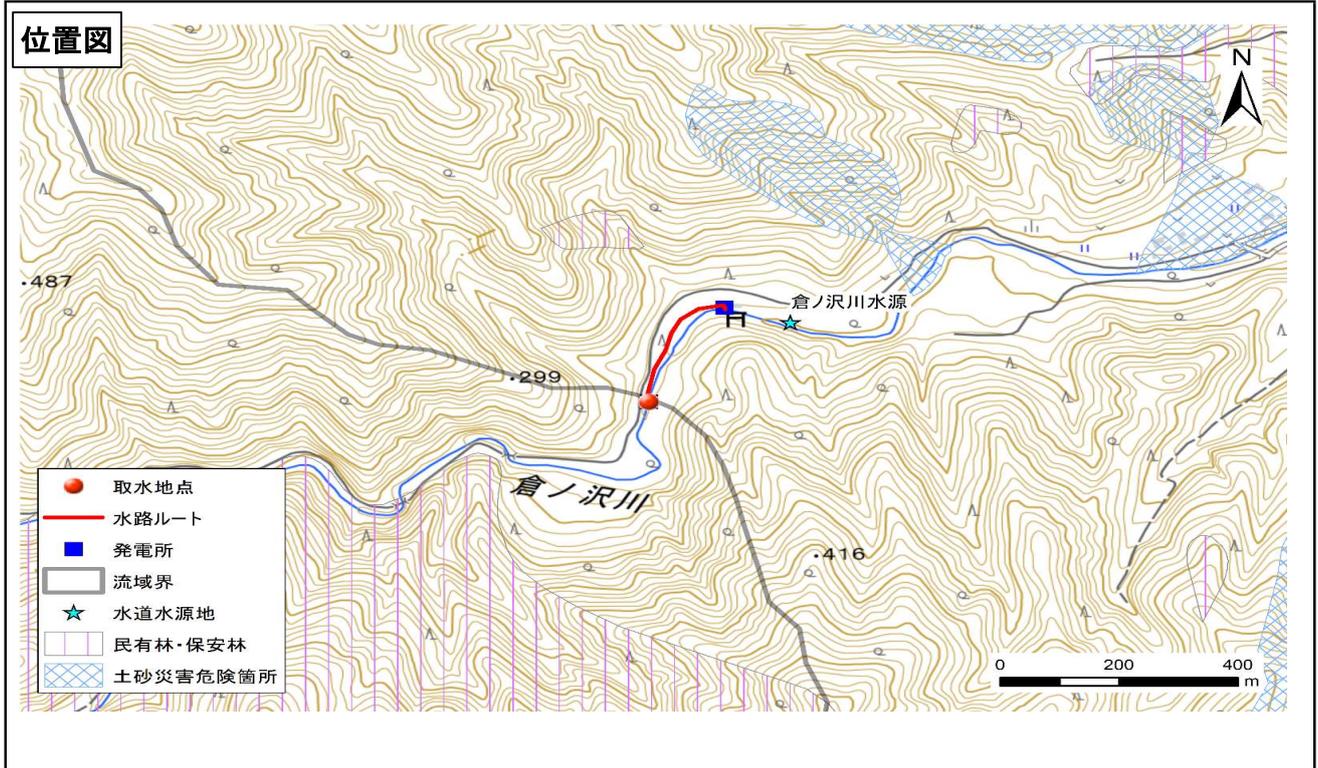
絵入追分道標 N
 チョウセンアカシジミ
 生息地(田代川流域)

- | | | | | | | | |
|--|-------|--|----------|--|-----------------|--|------------|
| | 取水地点 | | 流域界 | | 水道水源保護区域 | | 県指定鳥獣保護区 |
| | 水路ルート | | 国、県指定文化財 | | 国有林・保安林 | | カモシカ保護地域 |
| | 発電所 | | 宮古市指定文化財 | | 民有林・保安林 | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 高圧配電柱 | | 水道水源地 | | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | | 土砂災害危険箇所 |

0 250 500 1,000 m

P17

地点 No.	C
地点名称	倉ノ沢川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	岩手県
施設名称	—
施設管理者	—



[現地状況]

地点No.	C	地点名称	倉ノ沢川
-------	---	------	------



取水地点正面(取水堰跡)



導水トンネル跡。コンクリートで塞いでいる。



取水地点直下の滝



導水トンネル



導水トンネル内部



導水トンネルに「刈屋電気」の銘が刻まれている。



水路橋跡(自然石積)を下流から望む。



水路橋跡を上流から望む。

〔現地状況〕

地点No.	C	地点名称	倉ノ沢川
-------	---	------	------



水路橋の老朽化状況(右岸側)



水路橋の老朽化状況(左岸側)



導水路跡



導水路跡



支川をサイホンで通過している。



導水路跡



水槽跡



水圧管路入口

[現地状況]

地点No. C

地点名称

倉ノ沢川



水圧鉄管跡



余水路跡



発電所があった平坦面



水車固定アンカー



放水地点河道状況



発電所へのアクセス路跡

[補足事項]

地点No.	C	地点名称	倉ノ沢川
-------	---	------	------

・コメント

取水地点	取水堰の新設が必要。
導水区間	既設導水トンネルにおいては、工事・メンテナンス時の安全衛生の観点からさらなる断面確保・支保工整備が必要。 既設水路橋、既設サイホンは、老朽化が進んでいるため、既設撤去・新設が必要。既設導水路についても同様に、新規敷設が必要(導水路断面への樹脂管配置による、多少の工費削減が考えられる)。
水 槽	既設水槽は、老朽化により既設撤去・新設が必要。
発 電 所	計画高水の多寡により敷高の確認、配置検討が必要。
全 般	各設備の撤去・新設による工事費高騰が予想され、水力発電所跡地の利用は現実的ではない。工事費高騰を補うためにはより大きな発電規模が必要であるが、地形的要因(河川勾配が小さい等)から落差が小さいため、可能性は低い。

※1: 本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2: 対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

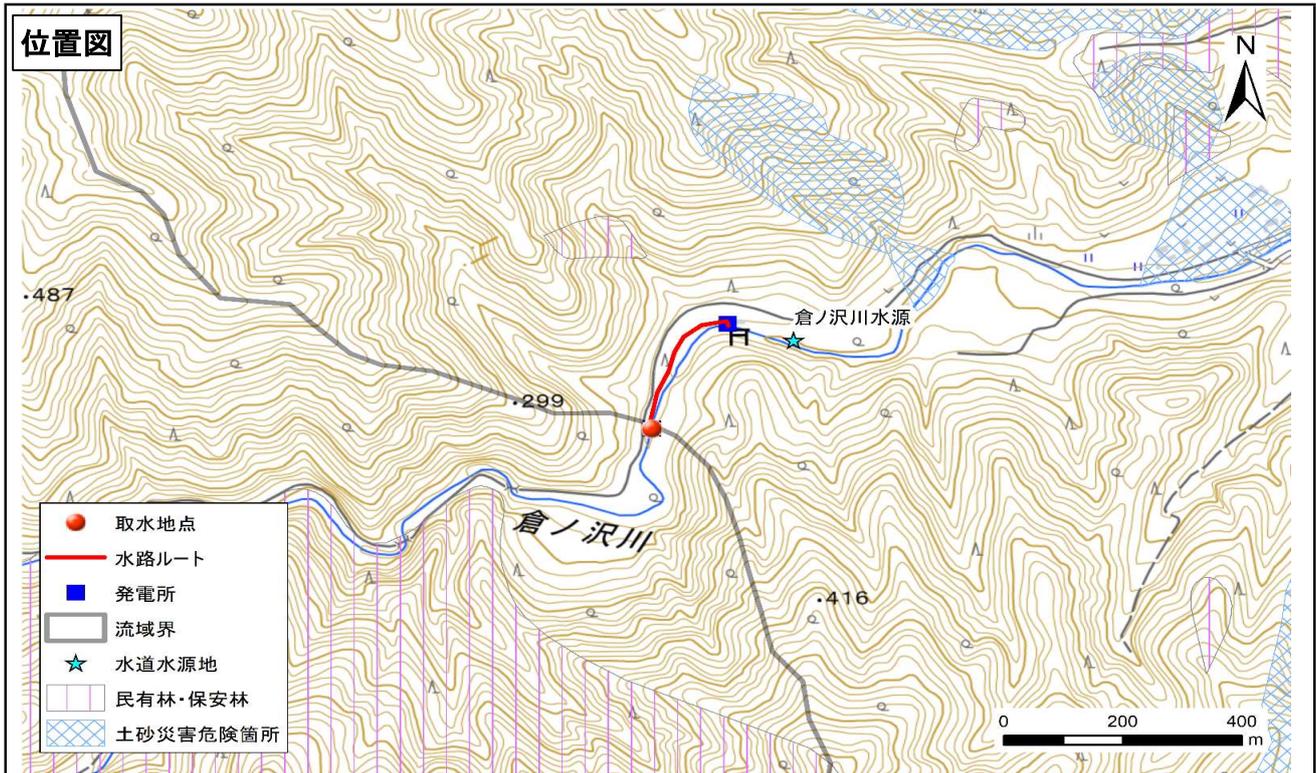
・関連協議先

--



- | | | | |
|-------|----------|-----------------|------------|
| 取水地点 | 流域界 | 水道水源保護区域 | 県指定鳥獣保護区 |
| 水路ルート | 国、県指定文化財 | 国有林・保安林 | カモシカ保護地域 |
| 発電所 | 宮古市指定文化財 | 民有林・保安林 | 土砂災害特別警戒区域 |
| 高圧配電柱 | 水道水源地 | 県指定鳥獣保護区 特別保護地区 | 土砂災害危険箇所 |

地点 No.	D
地点名称	薬師川
取水種別	堰堤新設
	堰堤既設
	参考(発電所跡地)
河川管理者	岩手県(二級河川)
施設名称	—
施設管理者	—



[現地状況]

地点No.	D	地点名称	薬師川
-------	---	------	-----



取水地点正面(取水堰跡と推定)



沈砂池跡(推定)



沈砂池跡(推定)



導水路区間(推定)



導水路区間(推定)



導水路区間(推定)



発電所地点(近景)



発電所地点(全景)

[補足事項]

地点No.	D	地点名称	薬師川
-------	---	------	-----

・コメント

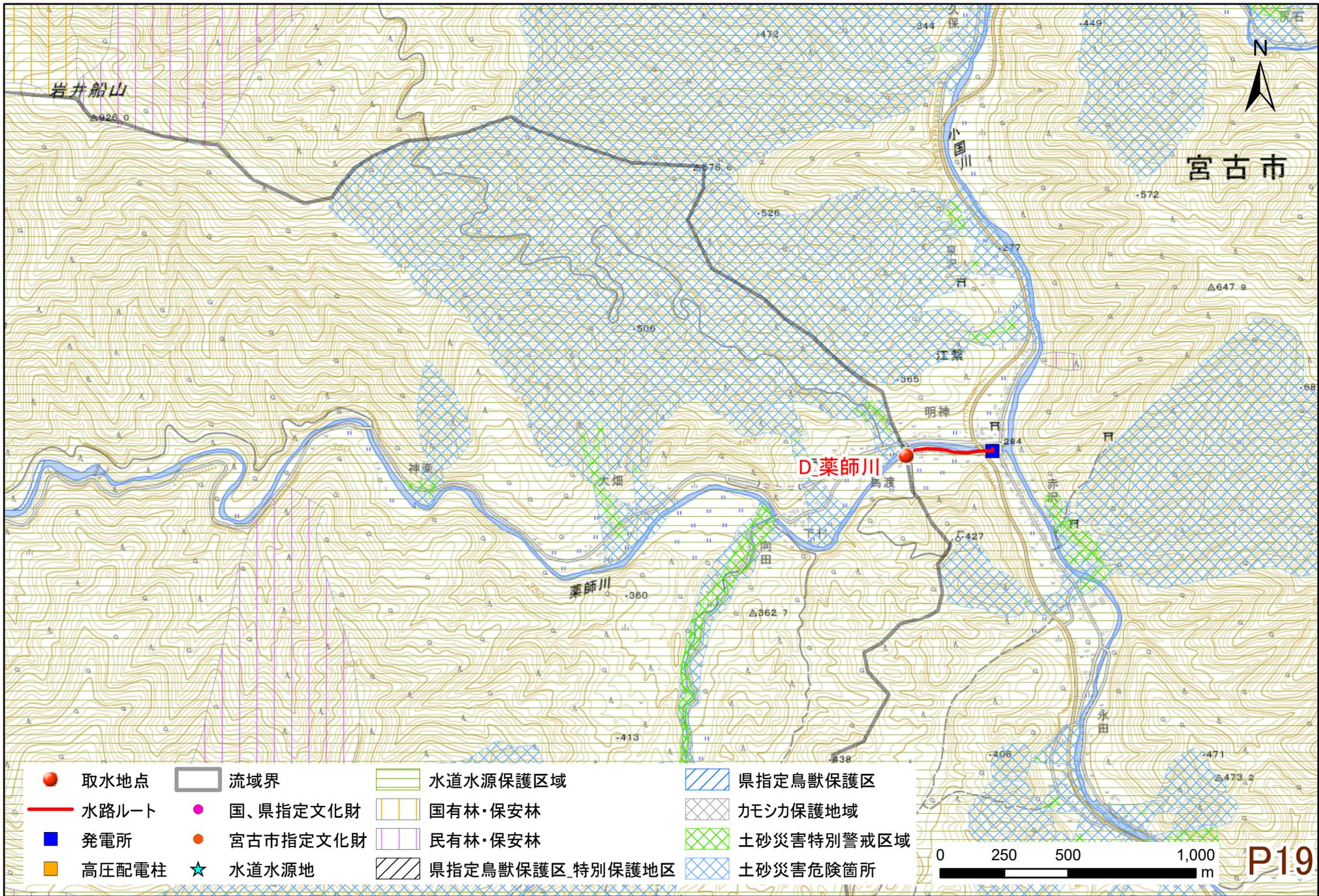
取水部	取水堰の新設が必要。地区内道路と橋梁により、沈砂池(あるいは水槽)のスペース確保が困難である。
導水部	導水路(あるいは水圧管路)の断面確保が困難。
水槽	水槽の新設が必要。ただし水槽のスペース確保が困難。
発電所	既設発電所は河道断面内であることから新設が必要。ただし、発電所スペースの確保が困難。
全般	河川拡幅や道路整備により各設備新設のためのスペース確保が困難である。よって、当地域の水力発電所跡地の利用は現実的ではない。

※1:本資料は現地調査結果を示したもので、採算性や事業実現性を確約するものではありません。事業実施にあたっては関連する法規制に準拠してください。また、漁業協同組合などの関係機関との調整が必要になります。

※2:対象河川は、水道水源保護区域であるため、宮古市上下水道部施設課との協議が必要となります。

・法規制関連協議先

--



- | | | | |
|---|--|---|--|
|  取水地点 |  流域界 |  水道水源保護区域 |  県指定鳥獣保護区 |
|  水路ルート |  国、県指定文化財 |  国有林・保安林 |  カモシカ保護地域 |
|  発電所 |  宮古市指定文化財 |  民有林・保安林 |  土砂災害特別警戒区域 |
|  高圧配電柱 |  水道水源地 |  県指定鳥獣保護区 特別保護地区 |  土砂災害危険箇所 |

